

平成26年度  
事業報告書



社会福祉法人 うきは市社会福祉協議会

## うきは市社会福祉協議会組織構成

議決機関	評議員会	28名
執行機関	理事会	12名
監査機関	監事	2名
常設委員会	葬祭事業運営委員会	10名
	献血推進協議会	32名
	契約締結審査会	8名
	貸付調査委員会	9名
	地域福祉活動計画策定委員会	22名
部会	高齢者福祉部会	12名
	障害者（児）福祉部会	13名
	児童福祉部会	12名
	福祉教育部会	12名
	ボランティア部会	12名
特別委員会	ふれあいセンター・福祉部活動支援のあり方検討委員会	9名

### 役員名簿（平成27年3月31日現在）

役職	氏名（選出区分）
理事（会長）	坂手 進（有識者）
〃（副会長）	石井 忠孝（有識者）
〃（副会長）	岩崎 道代（有識者）
〃	竹下 勲（区長会）
〃	清家 順介（自治協議会）
〃	永井ケイ子（民生委員・児童委員協議会）
〃	川原 佳秀（ボランティア）
〃	堀江 繁樹（ふれあいセンター）
〃	舎川 晴一（有識者）
〃	淵上 正子（有識者）
〃	佐藤 清（有識者）
〃	重富 洋子（有識者）
監事	伊藤 正勝（有識者）
〃	小林 誠一（有識者）

### 常設委員会委員長名簿（平成27年3月31日現在）

委員会名	委員長名
葬祭事業運営委員会	欠員
献血推進協議会	坂手 進
契約締結審査会	大石ヨシ子
貸付調査委員会	江藤 武夫
地域福祉活動計画策定委員会	伊藤 正勝

### 部会長名簿（平成27年3月31日現在）

部会名	部会長名
高齢者福祉部会	原田 一郎
障害者（児）福祉部会	諫山 勝
児童福祉部会	川原 唯男
福祉教育部会	佐藤 隆夫
ボランティア部会	佐藤 春義

# うきは市社会福祉協議会運営理念

1. 住民の皆さまの色々な声をしっかり聴きとり一緒に考えます。
2. より多くの住民皆さまと力を合わせて福祉のまちづくりを実現します。
3. サービスの質を高め在宅福祉を充実します。
4. 行政等では対応できないことでも住民皆さまと共に取り組んでいきます。
5. 地域の皆さまに積極的に福祉情報を提供します。

## 基本目標「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」

## 平成26年度事業報告

うきは市社会福祉協議会は、社会福祉法が規定する役割と社会福祉協議会の歴史を踏まえ、5つの運営理念のもと「住民皆さまの会」として「だれもが幸せに暮らせるまちづくり」を推進しました。

### —概要—

#### 1. 社協会費

社協の会費については、今年度も各世帯への趣意書の配布、会費の集約等には区長会の全面協力を頂き、世帯数に対して66.9%の納入率となりました。これは、合併時の61.9%から5ポイント、前年度比0.1ポイント上昇していますが、最も高かった24年度比では1.4ポイント減少しています。

区、校区によって納入状況が異なることから、引き続き地域に出向いて社協活動の啓発と理解に努めていく必要があります。

#### 2. ふれあいセンター・福祉部活動支援あり方の検討

昨年度末に地区公民館が廃止され、地区ごとに地区公民館活動を継承発展させたまちづくり推進のための自治組織として「自治協議会」が発足しました。自治協議会発足に伴い、これまで地区公民館組織を母体に設置推進してきた「ふれあいセンター」又は「地区公民館福祉部」の活動は、地区自治協議会に継承されることになりました。

自治協議会の発足を機に、助成金のあり方等評議員等から投げかけられた問題に答え、自治協議会と協働して地域福祉活動を推進するために「ふれあいセンター・福祉部活動支援のあり方検討委員会」を設置し、全6回にわたり慎重審議して頂き、この1月に指針となる答申を頂きました。

理事会では、この答申を基に活動支援のための助成金に関する規定を見直しし、合わせてふれあいセンターのモデル規約の見直しもおこなわれました。

このことの各自治協議会・ふれあいセンターへの説明に当たっては、市の関係所管課との調整協議を経て行うこととし、答申にあるように拙速を避け地域住民の理解を得て、近い将来に自治協議会の傘のもとで一本化したふれあいセンターとしての活動推進が図れるよう啓発していくこととしました。

#### 3. 年次調査統計要覧の作成・活用

福祉課題の把握・整理・共有、課題解決に導く方策の企画及び実施等一連の流れの充実とその過程の見える化の充実を図るため、4月1日の機構改革で総務課を「総務企画課」とし、課内に「企画調整係」を置き、法人全体として情報の共有化、調査・企画、広報業務（見える化）の充実を図ることにしました。この一環で、これまで個別の課題ごとに把握整理していた福祉統計資料について、一冊の「年次調査統計要覧」として集約することとし、関係機関等の協力を得て年度末に完成することができました。

この要覧は、次年度に公開し、福祉関係者が福祉課題の相関関係の把握や解決方策の検討の際の参考資料として活用されることを期待したい。

#### 4. 社会福祉法人連絡協議会の発足

社会福祉法人の社会貢献等社会福祉法人のあり方等が議論なされる中、この中央の動きを先取りする形でうきは市内の社会福祉法人が集まり、地域公益活動について研修・意見交換を行った結果、市内7法人で「うきは市社会福祉法人連絡協議会」を発足させ、協働して地域公益活動に取り組むことを確認しました。

次年度には、本来業務として実施している社会福祉事業を超えて、地域でどのような公益活動ができるか研究と試行を行う予定です。

## 5. 生活困窮者自立支援、引きこもり相談支援、障害者相談支援等の連携・協働の相乗効果

引きこもり、障害者、低所得者等の自立支援の有力な手段として、H25.6月に「内職シェアステーション Coccoconne」をオープンし、3社の下請け作業を通して必要な訓練を行っています。

また、市が「生活困窮者自立支援法」施行前の国のモデル事業の指定を受け、その一部を本会が7月に受託したことで、個別支援計画策定、家計支援、学習支援等の事業が加わり、この充実を更に図れる環境となりました。

本会が行うこの事業の特徴は、不登校・引きこもり相談支援事業等他の事業と緊密な連携・協働があることが相乗効果を高めており、就労準備支援事業では、就職6人、就労移行支援事業所利用2人、進学・進学準備2人等につながっており、学習支援事業では、中学3年生3名全員が進学先の決定につながっています。この取り組み手法は、全国的にも先例が少なく、県内外からも注目されています。

## 6. 第2回うきは市社会福祉大会

今回は、市の合併10周年記念事業の一環として、市、NHK福岡放送局、NHK厚生文化事業団九州支局との4者共催事業として開催しました。

記念式典の後、高齢社会で特に関心の高まっている認知症に焦点を当て、基調講演では「正しい理解と支援のあり方」を、パネルディスカッションでは「家族の絆・地域の絆・医療と介護・福祉の連携」をテーマにフロアーの皆さんと「地域で支え合う福祉」の推進について一緒に考えました。

また、会場の内外では、福祉施設やボランティア等の協力を得て飲食・展示・啓発コーナーを設け、沢山の市民に参加していただくことができました。

## 7. 在宅福祉事業

高齢者を主とした「介護保険事業」では、年老いても自宅で安心して暮らせる、そのような地域包括ケアシステムの構築の一端を支える役割として、多様なサービスを重層的に提供することに努めて参りましたが、経営面から見ると前年度比で収入が11.1%の減、収入予算に対しても17.3%の減となり、同様のサービスを実施する事業所の増加による利用者の分散と積極的な利用者確保の取り組み不足があると考えられます。また、採算が合いにくい居宅介護支援事業（ケアプラン作成等）、訪問入浴サービス、ナイトケア（夜間預かり）事業を厳しい経営環境といえども市民の福祉を支えるために継続して実施致していることも挙げられます。この状況を踏まえ、介護保険制度の改定・方向性を見極め、本会が地域包括ケア体制づくりで担う分野の検討が必要です。

障害者を主とした「障害福祉サービス事業」では、収入が前年度比0.4%の減、予算に対しても1.9%の減となりました。

一人暮らし等高齢者の生活を食の面から支える「食の自立支援事業（配食サービス）」（受託事業）は、利用者が年度末には105人で、前年度末比8人増、延べ配食数2,262食の減となっています。この事業を補完する本会独自業の「あったか宅配サービス」と共に安否確認を兼ねたこの事業によって、早期発見事例が1件あり孤独死の未然防止と早期発見にもつながっており、その必要性は年々高まっていると思われれます。

## 8. 障害者就労支援事業（ワークサポート白鳥の家）

平成23年10月1日に新体系に移行以来、「就職したい」、「働きたい」という障害者の思いに応えるため、訓練、学習の充実や地元事業所に職場実習の受け入れ開拓を行うなどにより、5名が就職（通算8名）することができました。ただ、白鳥の家を卒業した利用者の様子から、同僚との関係、余暇の過ごし方、家計のやりくり等のサポートが継続して必要なことがわかり新たな課題となりました。また、経営面では就職者が増えれば利用者が減少するというジレンマも生じます。

しかしながら、障害者が1人でも多く就職し、就職後も安定してその仕事を続け、そして地域の中で自立した暮らしが送られるようなサポート体制がうきは市内に必要であり、そのためにも関係機関や地元企業との連携強化・協働体制を更に充実していく必要があります。

## 9. 公益事業（葬祭事業）

家族葬のための別館の利用については、当初の見込みを上回る利用があり、市民の期待に一定応えることができました。

課題としては、社協の葬祭事業の認知度について『知らない』と答える方が3割を超えているため、さらに啓発を図る必要があります。

# I 総務企画部門

## 1. 法人運営事業

(1) 【理事会：全9回】 次の日程・内容にて、理事会を開催しました。

期日 回数	出席 (理事 / 監事)	議 案
5/23 第102回	11 / 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度事業報告の認定について</li> <li>平成25年度一般会計及び特別会計収支決算報告の認定について</li> <li>評議員の選任（欠員補充）について</li> <li>福祉委員設置規程の改正について</li> <li>地域福祉活動計画策定委員会規程の改正について</li> <li>地域福祉活動計画策定委員会補充委員の選任について</li> <li>資金運用責任者の選任について</li> <li>平成26年度資金（基金・積立金）の運用計画について</li> </ul>
7/24 第103回	11 / 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧問の委嘱について</li> <li>生活困窮者自立促進支援モデル事業受託及び第1次資金収支補正予算（案）について</li> <li>ふれあいセンター・福祉部活動支援のあり方検討委員会の設置について</li> </ul>
8/5 第104回	11 / 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員退職に伴う補充職員の募集（27年4月採用）について</li> <li>地域福祉活動活動計画策定委員会規程の改正（案）について</li> <li>特別委員会設置規程の改正（案）について</li> </ul>
9/22 第105回	12 / 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回社会福祉大会開催概要について</li> </ul>
11/17 第106回	12 / 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度職員採用試験（27年度採用）による職員採用について</li> <li>顕彰規程の一部改正について</li> </ul>
12/18 第107回	10 / 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度歳末たすけあい事業について</li> <li>職員給与及び退職手当に関する規程の改正について</li> <li>地域福祉活動計画策定委員会委員委嘱の同意について</li> </ul>
1/28 第108回	9 / 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>顕彰候補者の審査について</li> </ul>
3/5 第109回	9 / 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉事業特別協助者表彰の追加について</li> <li>指定訪問介護事業所及び指定介護予防訪問介護事業所運営規程の改正について</li> <li>指定通所介護事業所及び指定介護予防通所介護事業所運営規程の改正について</li> <li>指定認知症対応型通所介護事業所及び指定介護予防認知症対応型通所介護事業所運営規程の改正について</li> <li>指定訪問入浴介護事業所及び指定予防訪問入浴介護事業所運営規程の改正について</li> <li>居宅介護支援事業運営規程の改正について</li> <li>指定障害福祉サービス事業所運営規程の改正について</li> <li>障害者就労支援多機能型事業所運営規程の改正について</li> <li>役員等報酬及び旅費支給規程の改正について</li> <li>嘱託職員賃金支給規程の制定について</li> <li>嘱託職員退職手当支給規程の制定について</li> </ul>
3/26 第110回	11 / 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>パワーハラスメント防止規程制定について</li> <li>職員就業規則改正について</li> <li>嘱託職員就業規則改正について</li> <li>ふれあいセンター活動支援・助成規程制定について</li> <li>ふれあいセンターモデル規約改定（案）について</li> <li>福祉活動助成規程改正について</li> <li>障害者就労支援多機能型事業所工賃支払規程改正について</li> <li>定款一部変更（案）について</li> <li>臨時職員の准職員（無期雇用嘱託職員）への登用について</li> <li>平成27年度事業計画（案）について</li> <li>平成27年度資金収支予算（案）について</li> <li>平成27年度資金運用計画について</li> <li>事務局規程改正について</li> <li>第三者委員の選任について</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]



(2) 【評議員会：全3回】 次の日程・内容にて評議員会を開催しました。

期日 回数	出席者 出席／総数	内 容	会 場
5/29 第38回	20 / 28	・平成25年度事業報告の承認について ・平成25年度一般会計、特別会計収支決算報告の承認について ・理事の選任（欠員補充）について	うきは市 総合福祉センター
8/5 第39回	19 / 28	・平成26年度第1次資金収支補正予算（案）について	うきは市 総合福祉センター
3/28 第40回	26 / 28	・平成27年度事業計画（案）について ・平成27年度金収支予算（案）について ・定款の一部変更について	うきは市 総合福祉センター

(3) 【監査：全5回】

	期日	内 容	会 場
第1回	5/20	平成25年度決算監査	うきは市総合福祉センター
第2回	7/23	平成26年度第1期監査（4月～6月）	うきは市総合福祉センター
第3回	10/24	平成26年度第2期監査（7月～9月）	うきは市総合福祉センター
第4回	1/26	平成26年度第3期監査（10月～12月）	うきは市総合福祉センター
第5回	3/23	平成26年度第4期監査（1月～2月）	うきは市総合福祉センター

(4) 【会長・副会長会：全12回】

会長・副会長会を5/21、7/24、9/12、10/15、11/14、12/18、1/6、1/15、1/27、2/27、3/5、3/24に開催。

(5) 【社協会員に関すること】

①住民会員、賛助会員

地区名	住民会員			賛助会員		会費計
	(加入世帯 / 総世帯)	加入率	会費	加入口数	会費	
妹川	143 / 154	92.9%	71,500	110	55,000	126,500
新川	115 / 147	78.2%	57,100	52	26,000	83,100
田籠	51 / 65	78.5%	25,500	46	24,000	49,500
小塩	208 / 238	87.4%	104,000	59	29,500	133,500
山春	745 / 832	89.5%	372,300	514	257,000	629,300
大石	692 / 905	76.5%	345,800	492	246,000	591,800
御幸	1,651 / 2,260	73.1%	824,767	823	411,200	1,235,967
千年	610 / 1,567	38.9%	305,000	205	102,500	407,500
吉井	1,004 / 1,570	63.9%	501,238	266	132,501	633,739
福富	872 / 1,314	66.4%	435,110	132	65,800	500,910
江南	673 / 1,059	63.6%	329,300	113	56,500	385,800
市外				14	7,000	7,000
合計	6,764 / 10,111	66.9%	3,371,615	2,826	1,413,001	4,784,616

※住民会費は一世帯500円、賛助会費は1口500円ですが、募金と混同して入金があるため金額に端数が出ています。

※総世帯数は、区長文書配布数となっています。

②団体会員 年会費5,000円

社会福祉法人両筑福祉会（浮羽学園）  
 社会福祉法人浮羽コロニー（希望が丘）  
 社会福祉法人関南会（特別養護老人ホームえびね荘）  
 社会福祉法人遊林福祉会（遊林愛児園）  
 社会福祉法人光の子福祉会（御幸保育園）  
 社会福祉法人ふたば会（特別養護老人ホーム水月吉井）  
 特定非営利活動法人みつば会（浮羽共同作業所）  
 絆データシステム株式会社

(6) 市民（会員）に対する弔意に関すること

うきは市民（社協会員）でお亡くなりになった方へ、社協より弔電をお送りしました。

(7) 職員の技量向上に関すること

職員の技量向上のため、下記のような内部研修を行いました。

	期日	参加者（対象）	内 容
第1回	4/22	66名（全職員対象）	・平成26年度事業と予算の説明 ・事業説明と意見交換
第2回	5/25	46名（全職員対象）	・災害ボランティアセンター設置訓練
第3回	6/3	67名（全職員対象）	・災害ボランティアセンター図上訓練
第4回	7/25	23名（全職員対象・自主）	・会計研修 「会計を身近に感じましょう」
第5回	9/2	17名（リーダー・現任職員対象）	・職員リーダー、現任研修説明
第6回	9/24	44名（全職員対象・自主）	・人権研修
第7回	10/20	50名（全職員対象・自主）	・生活困窮モデル事業説明 ・リーダー、現任研修発表
第8回	10/22	19名（リーダー職員対象）	・職員労働安全衛生
第9回	11/19	17名（全職員対象・自主）	・ビジネス文書研修
第10回	3/11	62名（全職員対象）	・職員研究発表

## 2. 調査・企画・広報事業

### (1) 年次調査統計要覧の作成

今年度はじめて「年次調査統計要覧」の作成を行い、福祉にかかる調査の結果や、人口、人口動態、高齢率等のうきは市勢の状況等を掲載しました。

### (2) 社協だよりを活用した住民アンケート調査

市民からの声を拾い上げるために、ふくしのかかわら版を活用し、郵送形式の意識調査を実施しました。（ふくしのかかわら版6月号、9月号、12月号、3月号にて実施） 12通

なお送付いただいた内容については、事務局での検討対応、市への取り次ぎ、あるいは地元の民生委員等と連絡を取り、状況確認と支援をおこないました。

### (3) うきは市基本データの集積

うきは市の人口・世帯の増減や高齢率・年少率等の参考データを算出するために、市役所福祉係を介して、情報処理係に依頼し、5月にうきは市基本データを集積しました。

### (4) 社協だより「ふくしのかかわら版」の編集発行（共同募金配分事業）

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の福祉意識の啓発に関する事などを、うきは市民の皆さまにお伝えするために、毎月15日に「ふくしのかかわら版」を発行し、全戸に配布しました。10月からは、福祉教育指定校からの記事提供による福祉活動記事を掲載し、各学校での福祉教育の取り組みの見える化と、共同募金配分金の見える化に取り組みました。

### (5) ホームページの開設・情報定期更新（共同募金配分事業）

定期広報誌については発行に併せて月2回更新を行いました。月で500～600件のアクセスがあります。また、ホームページ中のカレンダーには、随時、社協事業など新鮮な情報を掲載しました。また、動画公開システムにて、手話動画や各社協事業所の紹介動画等を公開し、若い世代への地域福祉活動や社協活動の周知も行いました。

### (6) フェイスブック・ツイッターの管理・運営

フェイスブック・ツイッターなどを通して、地域福祉の情報提供や啓発活動を行い、社協活動の見える化を推進しました。

(7) 住民啓発資材（社協名入り入浴剤、各種パンフレット等）

社協の連絡先や相談窓口を啓発するための資材として、入浴剤、ボールペン、クリアファイルなどを作成配布しました。

(8) 広報カーの活用

たすけあい献血活動などを広報するために、社協の広報カーを活用しました。

(9) 行政放送の活用

社協の相談窓口や献血活動などをお知らせするために、市役所防災無線を活用させて頂きました。

(10) 福祉座談会の実施

社協活動や地域福祉活動計画について、区の常会等にて説明を行い、地域福祉の啓発活動を行いました。（実施回数 10 回）

4/5（東町区）	4/5（金本区）	4/19（千年校区区長会）	7/3（東福益区）
7/5（三春原区）	9/10（ボランティア連絡協議会）	10/4（上菅区）	10/5（今竹区）
11/12（老人クラブ）	12/4（障害者福祉協会）		

3. 福祉車両、福祉用具、遊具の無料貸出

(1) 福祉用具無料貸出

在宅で介護をおこなっておられる方々を支援するために、社協保有の福祉用具の貸出を行いました。福祉用具の点検整備については、老人クラブ奉仕部、ボランティアの協力により行っていただいております。

貸出用具	貸出件数	貸出用具	貸出件数
車いす	125	松葉杖	2
介護用ベッド	16	歩行器	3
ポータブルトイレ	16	シャワーチェア	2
		合計	164

(2) 福祉車両の無料貸出

普通の車での外出移動が困難な方へ、社協の福祉車両を無料貸出しました。（但し、燃料費自己負担）  
・平成26年度 延利用件数46件

4. 指定管理施設運営事業

老人憩の家は平成25年3月に、老人福祉センターは同年8月にボイラの故障が発生し、風呂が使えない状況となりました。この対応については、市の方針に従い、風呂のみを付近の温泉施設の協力を得て代用し、その他の施設利用は通常どおりとしましたが、入浴利用の利便性もあり、前年比で、憩の家は17.9%減少、老人福祉センターは10.0%減少となりました。

なお、市の方針により、平成27年3月末にてうきは市老人憩の家、うきは市老人福祉センターちかぜ及び社会会館は、閉鎖となりました。

(1) うきは市老人憩の家

(人)

	開館 日数	一般利用						全額免除	半額免除	総利用者数
		吉井	浮羽	市外	計	(男性)	(女性)			
年間計	293	1,896	327	88	2,311	726	1,585	95	219	2,625
1日平均		6.5	1.1	0.3	7.9	2.5	5.4	0.3	0.7	9.0
月平均	24.4	158.0	27.3	7.3	192.6	60.5	132.1	7.9	18.3	218.8



(2) うきは市老人福祉センターちかぜ及び社会会館 (人)

	開館 日数	一般利用						全額免除	宿泊者	貸室 利用	総利用者数
		吉井	浮羽	市外	計	(男性)	(女性)				
年間計	307	1,472	3,902	1,637	7,011	3,655	3,356	292	19	454	7,776
1日平均		4.8	12.7	5.3	22.8	11.9	10.9	1.0	0.1	1.5	25.3
月平均	25.6	122.7	325.2	136.4	584.3	304.6	279.7	24.3	1.6	37.8	648.0

(3) うきは市総合福祉センター (人)

	開館 日数	一般用貸出室				その他の 部 屋	総利用者数
		利用料免除団体		一般利用			
		団体数	人数	団体数	人数		
年間計	294	252	5,381	70	682	4,097	10,160
1日平均		0.9	18.3	0.2	2.3	13.9	34.6
月平均	24.5	21.0	448.4	5.8	56.8	341.4	846.7

5. 公益事業

「生活の無駄を省く運動」の一環として、昭和51年より葬祭事業を、平成16年度にはうきは斎場を建設し斎場葬を実施。公益事業として誰しも訪れる死に対し、華美な飾り付けや出費をあおらず荘厳で丁寧な葬儀を低額で提供できるように努めました。平成25年度には家族葬実施のため、うきは斎場別館を新築し、また斎場葬儀の利便が図られるように駐車場整備を行い、運営の充実を図りました。

- 利用件数 144件
  - 自宅・寺院葬 19件
  - 斎場葬 125件

□委員会・・・次の日程にて委員会を開催しました

	期日	会場	出席者
葬祭事業運営委員会	9/12	うきは斎場	委員9名
葬祭事業運営委員会	3/4	うきは斎場	委員8名

6. ふれあいセンター・福祉部活動支援のあり方検討委員会

平成26年3月末に地区公民館が廃止され、同年4月には、地区ごとに地区公民館活動を継承発展させたまちづくり推進のための自治組織として「自治協議会」が発足しました。発足に伴い、これまで地区公民館組織を母体に設置推進してきた「ふれあいセンター」又は「地区公民館福祉部」の活動は、地区自治協議会に継承されています。

ふれあいセンター・自治協議会福祉部の助成のあり方等、評議員等から疑問が投げかけられ「ふれあいセンター・福祉部活動支援のあり方検討委員会」を設置し、次の会長諮問事項について検討し、社協会長に答申がなされました。

【会長諮問事項】

- 自治協議会とふれあいセンターの組織関係のあり方
- ふれあいセンターの事業活動のモデル
- ふれあいセンターの組織・役員・事務局モデル
- ふれあいセンター活動助成と自治協議会福祉部に対する助成のあり方
- その他検討委員会が必要と認めたこと

	期日	出席者	協議事項
第1回	8/25	委員 10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長の指名、副委員長の互選</li> <li>・諮問事項について</li> <li>・協議日程について</li> <li>・事前配布資料の説明について</li> </ul>
第2回	9/26	委員 10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいセンターの事業・活動のモデルについて</li> <li>・ふれあいセンター及び自治協議会福祉部に対する助成のあり方について</li> </ul>
第3回	10/7	委員 10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治協議会とふれあいセンターの組織関係のあり方について</li> <li>・ふれあいセンターの組織・役員・事務局モデルについて</li> </ul>
第4回	11/11	委員 9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間答申について</li> <li>・今後の日程について</li> </ul>
第5回	12/4	委員 10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいセンター未設置自治協議会との面談の結果について</li> <li>・答申内容について</li> </ul>
第6回	1/14	委員 8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諮問事項に対する答申の内容について</li> </ul>

## 7. 被災地災害ボランティアセンターの支援

平成26年8月の広島市の土砂災害による被害に対し、広島市安佐南区災害ボランティアセンターに職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営支援を行いました。

【期間】9/21～26 【派遣職員】1名

## 8. 第2回社会福祉大会の開催

3月21日（土・祝日）に、うきは市文化会館（白壁ホール）にて、うきは市合併10周年記念事業記念式典・第2回社会福祉大会・NHKハートフォーラムを開催し、約820名の方に参加いただきました。NHKハートフォーラムでは、認知症を切り口に、地域包括ケアシステムの実現には、自助・互助・共助・公助の4つの助けを組み合わせ、地域をつないで、みんなで支えあっていく「地域の力」が求められていることを、皆さんと一緒に考える機会としました。

### 【うきは市合併10周年記念式典】

オープニングにて「うきは市民の歌」発表。うきは市合併10周年記念式典を開催。

### 【第2回社会福祉大会】

市長表彰（個人12名）、社会福祉功労者顕彰（個人32名、18団体）

### 【NHKハートフォーラム】

第一部 基調講演 「認知症の理解と支援 ～上手な歳の取り方を考える～」

講師／御所ヶ谷ホームクリニック 佐々木 健介先生

第二部 パネルディスカッション 「認知症みんなで支えるうきはのまちづくり」

コーディネーター／特定医療法人社団 宗仁会 筑後吉井こころホスピタル 古賀 寛 院長

パネリスト／元当事者家族 高木 千夏氏

JAにじケアプランサービス 介護支援専門員 稲舩 満氏

地域包括支援センター 保健師 末次 ヒトミ氏

## 9. 社会福祉法人連絡協議会

社会福祉法人の社会貢献等社会福祉法人のあり方が議論されるなかで、うきは市内の社会福祉法人が集まり、社会福祉法人の地域における公益的活動についての研修会及び意見交換会をおこないました。その結果、市内の7法人で「うきは市社会福祉法人連絡協議会」が発足し、地域における公益的活動を協調・協働して取り組むことを確認しました。

期日	内容
11/14	<p>テーマ 「社会福祉法人の社会貢献活動等法人改革に係る中央情勢と先駆的事例について」</p> <p>講師 社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会 事務局次長 波多江重則 氏</p>

## II 地域福祉活動部門

### 1. 調査・研究事業

#### (1) 部 会

次の日程・内容にて各部会が開催され、地域の福祉課題に関して研究・意見の集約をおこない、会長に提言がなされました。

部会名	期日	出席者	協 議 事 項
高齢者福祉部会	6/30	委員 11 名	・平成 2 5 年度部会活動について ・平成 2 6 年度部会活動について
	8/28	委員 7 名	・(株) サンピットバリューの買い物支援 (移動販売・無料送迎) の実施状況について 説明: (株) サンピット 久次社長
	1/27	委員 7 名	・「認知症対策」・「高齢者の健康増進と生きがいづくり」の取り組み 説明: うきは市 保健課 権藤係長 社会福祉協議会 地域福祉課 中嶋、中川 ・平成 2 7 年度社協事業への提言について
障害者 (児) 福祉部会	6/30	委員 10 名	・平成 2 5 年度部会活動について ・平成 2 6 年度部会活動について
	9/18	委員 10 名	・地域包括ケアシステムについて 説明: うきは市 保健課 熊谷係長
	2/5	委員 12 名	・うきは市と近隣市町村の資源等リスト作成について ・平成 2 7 年度社協事業への提言について
児童福祉部会	6/30	委員 10 名	・うきは市社協の児童福祉分野に関する事業について ・各団体の児童福祉分野における現状と課題について (意見交換)
	2/6	委員 10 名	・生活困窮者自立促進支援モデル事業 学習支援 「ラーニングスペース～マナ～」の実施状況について
福祉教育部会	6/30	委員 9 名	・平成 2 5 年度部会活動について ・平成 2 6 年度部会活動について
	8/21	委員 3 名	・福岡県社会福祉協議会主催「平成 2 6 年度福祉教育セミナー」参加
	2/6	委員 7 名	・27 年度社協事業への提言について
ボランティア部会	6/30	委員 10 名	・平成 2 5 年度部会活動について ・うきは市社協のボランティアに関する事業について ・平成 2 6 年度部会活動について (意見交換)
	11/21	委員 8 名	・福祉委員活動についての事例発表について 事例発表者/吉広区 福祉委員 ・意見交換
	1/30	委員 9 名	・福祉委員活動の課題整理 (意見交換) ・次年度に向けての提言
部会名	期日	出席者	内 容
合同部会	6/30	委員 50 名	・部会員の委嘱 (交代者のみ) ・研修「今、市町村社協にもとめられるもの ～福岡県内市町村社協活動指針より」 講師/福岡県社会福祉協議会 事務局次長 波多江 重則氏 ・25 年度部会活動について

#### ■社協活動への提言

部会名	提 言
高齢者福祉部会	①デマンド型交通・買い物支援の活性化について継続協議を円滑にすること。 ・小塩・妹川地区におけるデマンド乗合タクシーの実施状況確認。移動販売車の広報やサンピットへの情報提供等の協力。 ②高齢者の健康と生きがいづくりの推進を、継続して円滑にすること。 ・げんき塾・よりあいの推進 (市役所や関係機関との連携をとり、内容の充実を図る。) ・ふれあいセンターや自治協議会など地区単位活動の活性化支援 ③先進地研修視察の実施

部会名	提 言
障害者（児）福祉部会	①うきは市と近隣市町村を含めた社会資源リストを作成すること。 社会資源リスト作成にあたっては以下の内容を盛り込んでください。 ・事業所の一覧と、対象となる障害種別を記載してください。 ・サービス利用等の相談窓口について、記載してください。 ※近隣市町村の範囲（朝倉市、大刀洗町、筑前町、小都市、田主丸町）
児童福祉部会	①ラーニングスペース「マナ」の対象となる学生が来やすい環境づくりと関係機関やその保護者に十分理解されるように働きかけてください。 ②ラーニングスペース「マナ」の運営がスムーズに行われるように支援者確保に努めてください。
福祉教育部会	①平成26年度から自治組織に移行するにあたり、各自治協議会との連携を強化すること。 ②住民と接する機会があるときに、社協の役割や福祉の重要性等を話す機会をつくり広報を行うこと。 ③住民に分かりやすいパンフレットなどの広報物を作成すること。 ④広報誌を住民啓発する内容を盛り込み、見やすい工夫を図ること。
ボランティア部会	①福祉委員研修会について、研修内容を充実してください。（福祉委員活動とは何かを伝える基礎的な研修、福祉委員活動の事例から学ぶ研修等） ②日々の見守り活動に役立てていけるよう、区長、民生委員、福祉委員の情報共有の場を設けて下さい。 ③よりあい活動の講話や行政区での福祉学習会等で活用できるよう、地域の方で様々な専門分野を講話していただけるボランティアや、自分の経験話を話していただけるボランティア等の人材バンクの検討をお願いします。

## 2. 連絡調整事業

### (1) 連絡調整

行政をはじめとする関係機関との連絡・調整のため次のような会議を行いました。

連絡調整対象	連絡調整方法	連絡調整事項
ふれあいセンター、地区自治協議会福祉部	ふれあいセンター・自治協議会福祉部連絡会	活動推進、活動内容、事業日程他
うきは市民生委員・児童委員協議会	定例会、代表委員会	活動内容、研修内容他
行政（福祉事務所福祉係）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、地域福祉事業推進他
行政（保健課）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、成年後見制度他
行政（企画課企画調整係・福祉事務所）	大会担当者打ち合わせ	うきは市合併10周年記念事業 記念式典・第2回社会福祉大会・NHKハートフォーラムについて
行政（福祉事務所保護係）	行政・社協事務連絡調整会議	生活困窮者自立促進支援モデル事業
行政（コミュニティ支援本部コミュニティ支援係）	行政・社協事務連絡調整会議	自治協議会設立後のふれあいセンター活動の継続
両筑管内社協（6市町村社協）	両筑地区社協連絡会	事業内容情報交換、課題解決他
県南地区社協（10市町）	県南地区社協連絡協議会	事業内容情報交換、課題解決他

### (2) 委員会、会議等への参加

関係機関との連絡調整、事例検討、事業推進のため各種委員会、会議等へ参加しました。

委員会、会議等名称	主な内容	設置者（担当所管）
精神障害者地域支援会議	地域生活への移行支援	北筑後保健福祉環境事務所
要保護児童対策地域協議会実務者会議	要保護児童についての情報交換、検討	福祉事務所子育て支援係
地域子育て支援センター実務者会議	未就園児に係る支援	遊林ランド
不登校・引きこもり対策相談支援事業サポート協議会	不登校・引きこもり対策相談支援事業に関するサポート協議	福祉事務所福祉係
ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク協議会	見守りネットワーク事業	福祉事務所福祉係

委員会、会議等名称	主な内容	設置者(担当所管)
自殺対策協議会	自殺対策の研究、防止啓発	福祉事務所福祉係
地域ケア会議	個別ケース検討	保健課地域包括支援係
議会厚生文教常任委員会	社協事業の説明・意見交換会	議会事務局

### 3. たすけあい献血事業

うきは市からの委託を受けて、地域献血・年頭献血・事業所献血を行いました。地域献血・年頭献血においては、各自治協議会、区長会などの協力を得て実施することが出来ました。

#### (1) 献血推進協議会

期 日	会 場	出席者	内 容
11/7 (金)	うきは市総合福祉センター	委員 21 名	平成 25 年度献血運動について 平成 26 年度献血運動について 年頭たすけあい献血について

#### (2) 地域献血

期 日	地区別	会 場	配車台数	参加者	採血者 (%)	不採血者
5/21 (火)	全 域	市役所西別館	2	171	149 87.1%	22
10/7 (火)	全 域	ムラおこしセンター	2	132	122 92.4%	10
合 計	2 会場		4	303	271 89.4%	32

#### (3) 年頭たすけあい献血

期 日	地区別	会 場	配車台数	参加者	採血者 (%)	不採血者
1/3 (土)	大 石	大石コミュニティセンター	1.5	91	89 97.8%	2
	福 富	福富コミュニティセンター	1	63	58 92.1%	5
	新 川	新川コミュニティセンター	0.5	18	17 94.4%	1
	田 籠	田籠コミュニティセンター	0.5	16	15 93.8%	1
	妹 川	尼ヶ瀬公民館	0.5	32	29 90.6%	3
1/4 (土)	御 幸	うきは市民ホール	2	124	113 91.1%	11
	山 春	山春コミュニティセンター	1.5	80	74 92.5%	6
	小 塩	小塩コミュニティセンター	0.5	20	16 80.0%	4
	吉 井	うきは市生涯学習センター	1	58	53 91.4%	5
1/5 (日)	千年・江南	市役所 1 階ロビー	1	111	99 89.2%	12
	浮羽町	男女共同参画センター	1	59	50 84.7%	9
合 計	11 会場		11	672	613 91.2%	59

#### (4) 事業所等献血

期 日	事業所、団体名	配車台数	参加者	採血者 (%)	不採血者	
4/24 (木)	うきは警察署	0.5	26	24 92.3%	2	
	テクノ月星	0.5	28	26 92.9%	2	
8/26 (火)	福岡県土木組合連合会久留米支部	0.5	30	26 86.7%	4	
11/27 (木)	福岡県生コンクリート工業組合青年部・JAにじ	1	86	74 86.0%	12	
合 計	4 会場		2.5	170	150 88.2%	20



### (5) 学校献血

期 日	会 場	配車台数	参加者	採血者 (%)	不採血者
2/25 (木)	浮羽究真館高等学校	1	50	47 94.0%	3

### (6) 献血活動の広報

献血活動を推進するために、市広報・社協だより「ふくしのかわら版」への掲載、各行政区、市内主要箇所におけるポスターの掲示、広報カー・市役所防災無線での呼びかけ、年頭たすけあい献血チラシの全戸配布を行い、市民の皆さんにお知らせいたしました。

また、地域献血及び事業所献血では、参加者に対しBOXティッシュを、年頭たすけあい献血では、参加者にボールペンを進呈しました。

## 4. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

本会独自事業（市補助事業）として、福祉サービス利用援助事業を実施し、利用者の日常生活の自立を支援しました。本事業の利用者の実人員は、前年度比で16.1%増、訪問・活動回数は6.6%増となっており、年々相談・援助件数が増加している状況です。また、生活困窮者自立促進支援モデル事業との連携により、金銭管理等が必要な方の本事業の利用も増加している状況です。

相談内容については、金銭管理だけにとどまらずに多岐に渡っており、関係機関との連携がさらに必要となってきました。今後、利用者増に伴い、業務を補助する生活支援員の増員と援助技術の向上がさらに望まれます。

### [契約締結審査会]

	期 日	会 場	審査対象者数	報告件数	出席者
第1回	4/28	うきは市総合福祉センター	3名	25件	委員6名
第2回	7/29	うきは市総合福祉センター	3名	26件	委員6名
第3回	10/28	うきは市総合福祉センター	1名	25件	委員6名
第4回	1/28	うきは市総合福祉センター	3名	26件	委員8名

### 相談経路 [平成26年度利用者（契約者・試行利用者・状況観察者）実人員36名]

福祉事務所保護係	10	地域包括支援センター	2	福祉小座談会	1
親族	4	小学校	1	障害者就業・生活支援センター	1
障害者相談支援事業所	4	入所先施設	1	元雇用主	1
介護支援専門員	3	後見人	1	本人	1
民生委員・児童委員	3	医療機関	1	うきは市保健課保健師	1
北筑後保健福祉環境事務所	1				

### ◆契約者数◆

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	高齢者	9	10	9	7	7	8	8	9	9	9	9	9
	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障害者	9	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10	11
	精神障害者	1	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	4
	その他	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4
試行利用契約		2	2	2	1	2	2	2	3	4	4	5	4
状況観察		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		25	26	25	23	24	26	26	28	29	29	32	32

◆訪問、活動回数◆

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	高齢者	59	51	48	52	45	52	49	62	61	56	57	52	644
	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障害者	47	49	48	54	58	58	63	45	42	38	45	56	603
	精神障害者	5	16	18	32	31	32	24	25	28	24	40	39	314
	その他	29	31	36	37	24	35	33	26	34	26	41	52	404
試行利用契約		25	20	22	8	7	4	6	15	43	41	24	40	255
状況観察		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
合計		169	167	172	183	165	181	175	173	208	185	207	239	2,224

◆その他◆

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
その他権利擁護に関する相談受付回数	0	3	2	1	3	1	2	2	1	1	3	1	20
新規契約者	0	2	0	1	1	2	0	1	0	0	2	1	10
契約終了者	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4

認知症高齢者や障害者等要支援者に対する悪質業者による訪問販売への対応（行政、地域包括支援センター等関係機関との連絡調整）など、本サービスの利用に結びつかない事例でも、随時相談に応じると共に、必要に応じて成年後見人制度の紹介、申立てに繋げるなど対応しました。

その他、この事業の普及・啓発のため、説明用パンフレットを社協窓口を設置し、関係機関にも配布しました。

〔契約者数〕 H27.3月末 実人員28名 ※複数のサービスを利用されている方もあります。

契約事項	サービス内容	契約者数
福祉サービス利用援助	福祉サービス利用についての相談、情報提供、利用料金支払い代行等	22名
日常的金銭管理	公共料金等の支払い代行、預貯金の出し入れ支援等	26名
書類等預かりサービス	日常的金銭管理に使用する預金通帳や印鑑、年金証書、契約書等の預かり	27名

## 5. 成年後見事業

法人後見事業では、認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者等、意思決定が困難な方の判断能力を補うため、本会が成年後見人等となり、判断能力が不十分な方の財産管理や身上監護を行うことによって、その権利を擁護し、地域で安心して生活できるよう支援をしていきます。

成年後見人等に就任すると、代理権があるため、ご本人に代わって介護サービスの契約等を行ったり、ご本人が行った不利益な契約と取り消すことができるようになります。また、福祉サービス利用援助事業の契約時より、認知症等の症状が進行し、事業対象の枠を超えるケースが出てきたり、核家族化が増大し、近くに親族等がいない要支援者が増えたりという現状もあり、成年後見制度の移行により、引き続き社協が後見人としてきめ細やかな支援を行うことが出来、いつまでも安心して暮らすことができる地域づくりにつながります。

今年度は、市長申立てによる成年後見の申立て案件が1件あり、法人後見等の受任の申立てに関する審査を行うために、法人後見審査会を開催しました。本会が後見人候補者として申請し、受任にむけて準備を行いました。

また、成年後見制度について正しく理解していただくために、市との共催にて、成年後見制度・市民後見人普及・啓発講座を開催しました。

〔法人後見審査会〕

期日	会場	審査対象者数	出席者	構成員
2/24	うきは市総合福祉センター	1名	委員6名	行政、医師、司法書士、民生委員等

〔成年後見制度・市民後見人普及・啓発講座〕

	期 日	内 容		
1	7/8	「成年後見制度とその概要について」	岩城法律事務所 岩城和代弁護士	うきは市 総合福祉センター
2	10/17	「成年後見制度のしくみと後見人の実務について」		
3	10/24	「具体的な事例から学ぶ後見人の仕事」		

## 6. 障害者地域生活支援事業

障害者相談支援事業では、障害者のさまざまな相談に応じていますが、相談件数が昨年度比で14.8%増加しており、特に、知的障害者と関係機関からの相談が増加しています。また、相談内容が生活面のちょっとした相談から就労や将来の相談までと多様化しており、また相談者の抱える課題が複数混在していたりと複雑化しており、専門機関との連携がさらに重要になってきています。今後も、他部門との連携をさらにに行い、相談が増加している就労支援に力を入れていく必要があります。

### (1) 障害者相談支援事業

市からの受託事業として、障害者の様々な相談に応じると共に、障害者総合支援法に基づく福祉サービス利用に係る障害支援区分認定調査及び障害支援区分認定審査会への参加を行いました。

#### ◆相談件数・相談内容◆

		身体障害者	知的障害者	精神障害者	関係機関	その他	合 計
相 談 方 法	電 話	27	445	638	1,143	213	2,466
	来 所	39	320	683	327	148	1,517
	訪 問	48	178	100	127	18	471
	F A X ・メール	1	0	4	5	1	11
合 計		115	943	1,425	1,602	380	4,465
相 談 内 容 内 訳	①福祉サービスの利用	15	56	84	371	29	555
	②障害や病状の理解	3	13	47	159	17	239
	③健康・医療	1	26	34	136	15	212
	④不安の解消・情緒安定	7	53	463	10	52	585
	⑤保育・教育	0	1	6	24	3	34
	⑥家族関係・人間関係	0	14	58	60	19	151
	⑦家計・経済	1	29	62	42	13	147
	⑧生活技術	2	70	52	81	16	221
	⑨就労	10	122	88	195	26	441
	⑩社会参加・余暇活動	11	9	71	33	17	141
	⑪権利擁護	0	17	8	23	7	55
	⑫その他	65	533	452	468	166	1,684

#### ◆会議等◆

障害支援区分認定調査件数	78件
障害支援区分認定審査会参加	8回
地域自立支援協議会参加	1回
地域自立支援協議会事務局会議参加	9回
地域自立支援協議会児童部会参加	2回
地域自立支援協議会就労支援部会参加	1回

### (2) 障害者地域支援センター（ほっとスペースうきは）利用促進

うきは市総合福祉センターにおいて、障害者の交流・相談の拠点として障害者地域支援センター「ほっとスペースうきは」を運営しました。センターでの活動に際しては利用者の皆さんに登録を頂き、利用していただいています。昨年度に比べると延利用者が増えた要因には、ほっとスペース内に、内職シェ

アシテーション Coccoconne（こここんね）が設置されているためだと考えられます。

また、26年度は新しい試みとして11月にバスハイクを実施、また12月のクリスマス会では、門松作り等を行うなど、ほっとスペースでの行事のメニューを工夫したところ、多くの利用者の方々に喜んでいただき、参加者同士の交流もできました。さらに、利用者が増加するような取り組みを行い、障害者の交流・相談の拠点としての機能を充実していきます。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数		28	30	37	36	56	40	39	43	42	45	32	30	458
内 訳	身体障害者	1	2	6	3	7	8	6	2	2	6	2	3	48
	知的障害者	3	4	2	3	5	7	6	8	5	2	5	5	55
	精神障害者	18	17	20	18	24	17	17	20	23	17	19	17	227
	障害児	0	0	0	1	6	0	1	2	0	6	0	0	16
	その他	3	4	5	6	6	6	5	7	9	7	6	5	69
	関係者・家族	3	3	4	5	8	2	4	4	4	3	7	0	0
利用者延人数		174	163	193	201	246	262	289	257	250	228	241	256	2,760
内 訳	身体障害者	9	11	15	12	14	29	35	26	26	30	25	31	263
	知的障害者	5	9	2	6	13	11	41	23	13	2	18	26	169
	精神障害者	95	95	109	117	145	136	130	120	119	97	124	133	1,420
	障害児	0	0	0	1	6	0	1	2	0	6	0	0	16
	その他	62	45	63	60	60	84	78	82	89	82	74	66	845
	関係者・家族	3	3	4	5	8	2	4	4	4	3	11	0	0
新規登録者数		14	13	1	5	3	3	2	3	1	0	4	2	51
内 訳	身体障害者	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	5
	知的障害者	2	2	0	0	1	1	1	1	1	0	2	1	12
	精神障害者	8	10	1	2	1	0	1	2	0	0	2	0	27
	その他	3	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	7
見学者数		0	0	14	2	6	24	15	19	29	2	11	6	128
内 訳	身体障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	知的障害者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	5
	精神障害者	0	0	0	0	3	0	0	0	4	1	2	1	11
	その他	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3
	関係者・家族	0	0	14	1	2	23	15	19	25	0	6	3	108

■ほっとスペースうきはでは次の行事を行いました。

6月26日：お菓子作り 8月23日：チャレンジド親の会交流会 11月11日：バスハイク  
12月25日：クリスマス会 1月17日：Coccoconne（こここんね）新年会  
1月24日：チャレンジド親の会交流会 2月26日：ほっとスペース卓球大会

### (3) うきは市障害者相談支援センター

■指定特定相談支援事業所（市指定）：サービス等利用計画の作成（実人員：99名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規作成件数	4	2	5	7	2	4	2	2	1	1	0	3	33
継続作成件数	3	6	6	5	5	5	5	3	12	8	8	3	69

■障害児相談支援事業所（市指定）：障害児通所サービス利用計画の作成  
計画作成なし

■指定一般相談支援事業所（県指定／平成25年10月1日）：地域移行支援、地域定着支援の実施

## 7. 生活困窮者自立促進支援モデル事業

本事業については、国の施策により平成27年度より本格実施される生活困窮者自立支援事業に先駆けて、平成25年、26年度より希望する自治体のみモデル事業指定を受けて相談支援を実施することになっておりましたが、平成26年7月1日よりうきは市がモデル事業を受けるにあたり、本会では一部委託を受けて自立相談支援事業、個別支援計画策定、就労準備支援事業、家計相談支援事業、学習支援事業を実施しました。

### (1) 自立相談支援事業

生活困窮問題についての相談をお受けして、解決策を検討しました。相談内容は以下の通りで、非常に多岐にわたった内容となっています。

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談所開設日数	22日	18日	19日	22日	19日	19日	19日	19日	22日	179日
相談対応者数 (延べ件数)	14名 (26件)	13名 (15件)	15名 (28件)	21名 (29件)	13名 (25件)	10名 (28件)	15名 (27件)	19名 (44件)	17名 (45件)	137名 (267件)

相談内容（就労、貸付、金銭管理、心理的ストレス、解雇、アルバイト面接、進路、療育手帳取得、未払い金精算、転居費用、修理費、進学、市営住宅入居、障害者就労、保護つなぎ資金、家出、発達障害者の受入先、進学費用、就労準備、ひきこもり対応、生活費、医療費、入院費、対人トラブル、高齢者虐待）

### (2) 個別支援計画策定

生活困窮状態から脱却するために、本人の意思を尊重しながら自立支援に向けた計画を策定し、利用者はこのプランに基づいた訓練や学習支援などを受けています。

計画策定件数 10件（うち生活保護受給者5件）

対象者の属性（生活保護受給5／精神障害3／知的障害1／身体障害1／ひきこもり経験3）

※重複あり（認定審査会済）

### (3) 就労準備支援事業【内職シェアステーション Coccoconne（こここんね）開設状況】

就労準備支援事業として、うきは市総合福祉センター内に内職シェアステーション Coccoconne を設置し、常時内職作業に参加できるように作業区画等の作業環境を整備しました。三種類の内職作業を提供しながら、就労に向けての訓練や他人とのコミュニケーションの訓練、また社会参加を促すようなグループ活動などを実施しました。

〔内職受注先〕

事業所名	所在地	作業内容
株式会社熊谷ゴム	久留米市田主丸	ゴム製品のバリ取り
すわの産業	筑前町原地蔵	ウレタンシール貼り
長尾製麺株式会社	うきは市吉井町	ラーメンの袋詰め

〔開設日〕

平日の月曜日から金曜日 9:00～17:00 で作業実施

納品期限が間に合わない場合は、残業や土曜作業あり

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	25日	19日	19日	22日	20日	19日	20日	19日	22日	185日



月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通所者実数 (延べ人数)	14名 (141名)	12名 (147名)	13名 (163名)	13名 (183名)	15名 (189名)	13名 (176名)	13名 (164名)	14名 (180名)	16名 (203名)	30名 (1,546名)
平均利用者	5.6人	7.7人	8.6人	8.3人	9.5人	9.3人	8.2人	9.5人	9.2人	8.4人/日

[作業場所]

うきは市総合福祉センター ほっとスペースうきは / 長尾製麺株式会社作業場 (出張作業)

[利用者]

実利用人数30名/月別利用者数は以下の表のとおり

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
吉井	男	5名	5名	5名	6名	7名	7名	5名	5名	6名	51名
	女	5名	5名	4名	4名	4名	3名	2名	3名	3名	33名
浮羽	男	4名	2名	3名	3名	3名	3名	5名	5名	6名	34名
	女	0名	0名	1名	0名	1名	0名	1名	1名	1名	5名
計		14名	12名	13名	13名	15名	13名	13名	14名	16名	123名

[利用者の属性]

現利用者の受け入れ経路および属性は次のとおりです (重複あり)

福祉事務所保護係より現在生活保護対象者を受け入れ	10名
生活困窮者自立相談からの受け入れ	13名
障害者相談からの受け入れ	15名
不登校・ひきこもり相談からの受け入れ	10名
ほっとスペース (障害者フリースペース) 利用からの受け入れ	8名
福祉サービス利用援助事業相談からの受け入れ	5名
保護司の指導による受け入れ	1名

[利用後の状態]

就 職 (一般就労/障害者就労/パート就労/アルバイト就労/試験雇用)	6名
就労移行支援事業所利用	2名
進学による資格取得	1名
進学準備	1名
施設通所・入所 (就労継続B型事業所/生活訓練)	2名
普通自動車運転免許取得	1名
他障害者支援施設利用	1名
継続利用検討中	1名
転 出	1名

#### (4) 家計相談支援事業

※該当者なし

#### (5) 学習支援事業

生活困窮している世帯の子どもたち (中学生) を対象とした学習支援を市内2ヶ所で展開し、居場所の確保、学習の場の提供、進学・進路のアドバイス、年齢の近い社会人・大学生ボランティアを利用した将来的なモデル提示等を積極的に展開し、子どもたち目線からの貧困対策支援を実施しました。

また、当事業においては近隣大学である久留米大学や市内中学校、行政機関と連携し、幅広いネットワークの中で柔軟に子どもたちの対応を進めました。

◆対応人数◆

	吉井会場	浮羽会場	合計
実人数	4	2	6

※3年生3名、2年生1名、1年生1名

ボランティア数	4名	内訳	学生	2名
			ピアサポート(元当事者)	2名
延べ回数			156回	

◆実績◆

進学先
御船高校 普通科(熊本県立)
祐誠高校 土木科(私立)
浮羽工業高校 定時制課程(福岡県立)
3年生3名全員が進学先決定

生活保護家庭だけでなく、生活困窮者家庭も対象となり生徒数が増えました。

そのため、支援体制の強化が必要となり久留米大学の社会学科に協力を依頼しています。

8. 不登校・ひきこもり対策相談支援事業

市の受託事業として、専門相談員を配置し、不登校の子どもたち、ひきこもり状況にある方、その家族を対象に、相談に応じると共に、本人の同意を得た上での訪問活動、連携機関との情報共有、通年セミナーの開催等を行いながら包括的な支援を展開するなど、より本人の希望する道へと導けるよう支援を行いました。

また、相談・交流スペースを設置・午後をフリースペースとして開放、専用相談ダイヤルの設置、メール・インターネットでの相談開始、家族会の開催、当事者の会(Switch:スイッチ)の活動支援等を積極的に展開しました。特に家族支援の観点から、「うきは市不登校・ひきこもりを考える会」と共催で開催した家族会は、延べ12回開催、106名の参加がありました。

◆支援実人数と相談・訪問支援件数◆

	不登校	ひきこもり	合計
支援実人数	24	26	50
支援方法	不登校	ひきこもり	合計
相談支援(電話・メール・来所) / 回	531	631	1,162
訪問支援(自宅訪問) / 回	162	57	219
合計	693	688	1,381

◆支援状況◆

経過(不登校)	人数	経過(ひきこもり)	人数
進学決定	3	就労開始・継続	6
登校開始・継続	10	進学決定	2
就労支援	1	進学・資格取得支援	2
他機関へ移管	2	内職シェアステーション利用	3
不登校気味	4	他機関へ移管	1
完全不登校	4	ひきこもり気味	10
		完全ひきこもり	2
合計	24	合計	26

◆フリースペース利用状況・回数◆

利用実人数	人数
不登校	7
ひきこもり	9
家族・関係機関	64
利用者	回数
不登校	350
ひきこもり	466
家族・関係機関	256

◆不登校・ひきこもりに関するセミナーの開催◆

開催日	会場	参加者数	内容
7/25 (金)	うきは市総合福祉センター	19名	「福岡市における思春期相談事業の現状と課題について」 福岡市子ども総合相談センター 子ども相談課 主査 高尾 香 氏
11/22 (土)	うきは市総合福祉センター	50名	「虐待を受けた私から、伝えたい真実・メッセージ」 ピアサポーター・元当事者 咲来 美波 氏

■家族会・当事者の会支援

(1) 家族会「みつばちの会」の支援

毎月第3水曜日19時から定例会を開催。参加者は毎月9名程度。コーディネーターに長阿彌幹生氏(教育文化研究所代表)をお呼びし、家族から見つめる不登校・ひきこもりについてを考えました。

(2) 当事者の会「Switch(スイッチ)」の支援

平成24年度からフリースペースを利用している当事者により、自分たちで支え合う団体(セルフヘルプグループ)として活動を行いたいとの声により、当事者の会 Switch が設立。メンバーでの交流活動や赤い羽根共同募金での街頭募金活動、社協内での事務手伝いにおける社会人との交流・体験就労等行いました。今後は当事者間の交流等を進め、個人個人の目標を見つめ直す機会にもしていきます。

9. ふれあいのまちづくり推進事業

(1) 総合相談事業

市民の皆さまの気軽な相談窓口として、各種相談に応じられるよう相談所を開設しました。

①心配ごと相談(常設相談)

相談開設：毎週火・金曜日 9:00～15:00

相談場所：火/吉井事務所 金/浮羽事務所

開設日数	82
相談者	77
相談経路 来所	58
// 電話	19
相談件数	77

相談援助事項

終了解決	26	
相談継続	7	
社協による援助実施	9	
弁護士相談紹介	9	
他機関・組織への紹介	26	
内 訳	民生委員児童委員	3
	福祉事務所	5
	その他行政機関	15
	その他民間組織	3

	相談事項	件数	内 容	内数		相談事項	件数	内 容	内数
暮らし住まい	生計問題	13	公的扶助(生活保護)	2	法律	医療問題	1	その他	1
			生活福祉資金	1		財産問題	8	遺産分割	2
			ローン問題	1				土地売買	1
			公私借入問題	4				境界線(相隣関係)	4
			サラ金問題	1				贈与	1
			その他	4				事故問題	1

家 族	住宅問題	6	借家	2	福 祉 ・ 教 育	教育・青少年問題	1	その他	1
			転居	1		障害者（児）福祉問題	2	精神疾患	1
			家賃	1			その他	1	
			増改築	1		老人福祉問題	5	介護	3
			その他	1				独居	1
	家庭問題	12	夫婦関係	1	そ の 他	7	相隣関係の苦情	6	
			親族関係	7			その他の苦情一般	1	
			親子問題	4			その他	15	その他
	結婚問題	1	結婚相談	1	合計				77
	離婚問題	5	離婚相談	5					

## ②母子・父子・女性相談

相談開設：年12回（毎月第1木曜日）

相談場所：偶数月／浮羽事務所

奇数月／吉井事務所

	計	
相談開設	12	
相談来訪者	3	
電話相談	1	
相談件数	4	
内 容	生活苦	0
	住宅問題	1
	離婚	0
	その他	3

## ③第三者委員苦情相談

相談開設：6回

相談場所：浮羽事務所 5/7、9/2、1/6 実施

吉井事務所 7/1、11/4、2/3 実施

	浮羽	吉井	計
相談開設	3	3	6
相談来訪者	1	0	1

※ 1/6 うきは市デイサービスセンター、  
水月吉井、えびね荘訪問実施

※ 1/8 苦情受付担当者研修会 出席  
(春日市クローバープラザ)

## ④弁護士無料法律相談

相談開設：年12回（毎月第3木曜日）

相談場所：偶数月／浮羽事務所 奇数月／吉井事務所

相談開設	12
相談来訪者	77
相談件数	86

相談結果

指導助言により終了	78	
扶助協会への紹介	0	
弁護士紹介	8	
内 訳	相談担当者直受	2
	継続相談	6
	相談担当者以外	0

	相談事項	件数	分 類	内数
一 般 民 事 関 係	不動産関係	15	所有権	1
			登記	3
			売買	1
			貸借権	2
			家屋明渡	1
			境界	1
			相隣	4
			その他	2
	債権関係	9	貸金	6
			その他	3
損害賠償	6	交通事故	2	
		その他	4	

	相談事項	件数	分 類	内数
一 般 民 事 関 係	その他	12	信販	1
			労働関係	4
			その他	7
	家事関係	39	離婚	10
			離婚以外の夫婦関係	1
			相続	21
			親子	3
特殊事件	5	サラ金	4	
		消費者	1	
		合計	86	

⑤司法書士相談（福岡県司法書士会筑後支部との共催）

相談開設：年12回（毎月第4木曜日）

相談場所：偶数月／吉井事務所、奇数月／浮羽事務所

※社協は受付事務および部屋の貸出を実施

相談開設	10
相談来訪者	31
相談件数	31
相談結果	
指導助言	30
相談継続	1

相談事項	
不動産登記関連	11
相続関連	3
借金関連	2
裁判関連	0
成年後見関連	2
会社登記関連	0
その他	13

⑥相談員研修

相談員の資質向上を図るため次の研修会を実施しました。

期日	会場	参加者	研修内容
4/10 (木)	うきは市総合福祉センター	12	相談員委嘱状交付 研修「うきは市での詐欺被害等の状況について」 講師／うきは警察署 生活安全課 井本久利 主幹
10/9 (木)	えーるピア久留米	3	福岡県法律相談連絡協議会主催「福岡県法律相談合同研修会」 ・講演「高齢者の財産管理について」 ・意見交換会

⑦相談窓口啓発パンフレットの配布

福祉委員（福祉委員委嘱状交付式、福祉委員研修会等）の皆さま方にパンフレットの配布を行いました。

(2) ボランティア活動に関すること

①ボランティアセンター運営

ボランティアセンターでは、毎週月曜日～土曜日（日、祝日は休み）の8:30～17:15にボランティア活動に係る様々な相談、依頼を受けて需給調整をおこないました。また、月・水・金曜日の9:30～15:00は、ボランティアコーディネーターがボランティアセンターに常駐し、ボランティアに関する相談に応じました。なお、月1回ボランティアコーディネーターの会議を開き、ボランティア相談に関する検討等を行いました。

ボランティアセンター相談受付状況

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①活動希望	0	2	6	2	1	2	1	0	1	7	2	0	24
②ボランティア依頼	29	22	33	38	33	31	35	23	28	34	29	27	362
③情報収集	1	2	0	0	2	1	1	0	3	0	0	1	11
④その他	1	12	2	5	6	2	3	1	4	5	2	1	44
合計	31	38	41	45	42	36	40	24	36	46	33	29	441

②ボランティアニーズ需給調整

ボランティア活動依頼については、うきは市ボランティア連絡協議会加入団体や会員制互助組織（低額有償サービス）への斡旋等を行いました。26年度は、移送サービスボランティア依頼の増加により、前年度比で57.3%の増となっています。

また、ボランティア活動や会員制互助組織で対応できないケースについては、シルバー人材センターやその他の機関へ連絡し対応していただいたり、地域の力で解決していただいたケースもありました。

ボランティア活動相談については、希望に応じて各機関と連絡調整をしながら、ボランティア参加を促しました。ボランティア活動希望の件数が前年度より倍増しており、市民のボランティア活動に対する意識の現れであると思われます。今後は、団塊の世代が退職を迎え、地域での新たな役割としてボランティア活動への参加が促せるよう、ボランティアに関する広報のあり方や、活動につながる講座の開催などを検討していく必要があります。



## 〔ボランティア活動依頼内訳〕

(件)

内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外出	通院・通所介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外出・旅行介助(ガイドヘルプ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	移送ボランティア	23	19	28	29	29	28	33	23	26	32	28	26	324
生活援助	家事援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小修理	3	2	5	2	1	3	0	0	1	0	1	1	19
	理容・美容カット	1	1	0	1	2	0	2	0	0	1	0	0	8
友愛訪問	保育・遊び相手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	話し相手・安否確認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	代々手伝い・出し物披露	2	0	0	6	1	0	0	0	0	1	0	0	10
技能提供	朗読、点訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話、筆記通訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話、点字の指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のボランティア		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合計		29	22	33	38	33	31	35	23	28	34	29	27	362

## ③ ボランティア保険加入促進

うきは市内でボランティア活動をおこなう方々に、安心してボランティア活動ができるように、ボランティア活動保険を紹介し、加入を促進しました。

【ボランティア保険加入者数 818 名】

## ④ ボランティア活動団体支援・助成

うきは市ボランティア連絡協議会には、複数のボランティア団体が登録していただいておりますが、それぞれの団体活動や運営が円滑におこなわれるよう、活動費の助成や活動支援をおこないました。

(助成金額 785,155 円)

また、5/16 ボランティア連絡協議会総会、10/27 ボランティア連絡協議会役員研修(大分県宇佐市ボランティア連絡協議会視察研修)、1/17 ボラ連会員のつどいが行われ、活動支援を行っています。

うきは市では以下のような団体がボランティア活動をおこなっております。

## うきは市ボランティアセンター登録・把握団体一覧表 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

団体名		会員数	活動内容
うきは市ボランティア連絡協議会加盟団体	浮羽町日本赤十字看護奉仕団あいの会 (日赤介護講習修了者グループ)	110	高齢者(一人暮らし・老夫婦)とのふれあい食事会 手作り弁当配布 シルバー男性料理教室 施設入所者訪問
	声のグループ うさぎ	12	視覚障害者の方に市情報(広報うきは、社協だより等)や物語を録音し届ける
	小修理ボランティア	3	高齢者世帯や障害者世帯を主として、水道関係・家屋補修および庭木の片付けなどを実施
	ハンディ移送サービスうきは	10	高齢者・障害者の移送サービス(会員制)
	七施会	20	社協の福祉給食の配食活動、白鳥の家アルミ缶回収時運転
	ビューティボランティア	2	寝たきり高齢者、障害者を主として訪問美容活動
	舞踊ボランティア	44	福祉施設への訪問活動、敬老会・盆踊り大会などへの協力
	ハッピーかい	22	福祉施設や市内のよりあいでのセラピューティックケアの実施
	朗読ボランティアともしび会	6	視覚障害者の方に市情報(広報うきは、社協だより等)や物語を録音し届ける
	点筆の会	8	視覚障害者の方に暮らしに役立つ身近な情報を点訳し届ける
	かりん	20	よりあいの昼食づくり、一人暮らし高齢者交流会での調理協力
寿軍団	9	福祉施設に訪問し歌やマジック、踊り等の披露	
団体・グループ：12		会員数：266 名	

団 体 名		会員数	活 動 内 容
把握 団体	夕月の会	7	一人暮らし高齢者交流会、施設訪問にて銭太鼓等を披露
	うきは市手話の会	26	聴覚障害者の社会コミュニケーション保障と通訳者の養成
	湯の花よかよか会	25	高齢者を対象に健康づくり体操を実施
	うきうき会(健康づくりボランティア)	18	公民館等において高齢者を対象に軽い体操を実施
	うきは市食生活改善推進会	60	地域における食生活改善普及の徹底と実践活動
	グループいろいろ	10	クリスマス時期にサンタクロースに扮し、子どもにプレゼントを届けて夢を与える
	うきは図書館友の会	16	図書館行事の支援ボランティア
	幸せの会「クローバー」	8	現役在宅介護者の相談相手や介護教室等のサポート
団体・グループ：8 会員数：170名			
個人	運転ボランティア	16	社協の福祉給食の配食活動
	よりあいコーディネーター	28	市内でのよりあいで、健康体操、手遊び、ゲームなどの指導支援
	個人登録ボランティア	15	ボランティアセンター個人登録者
個人：59名			
<b>活動者合計 団体・グループ 20 (436名) 個人：59名</b>			

#### ⑤ ボランティア活動資材の購入・貸出

様々なボランティア活動のニーズに対応するため、また、よりよいボランティア活動を推進していくために必要な資材等を購入し、推進に努めました。

#### ⑥ よりあいコーディネーター派遣事業

よりあい開催区より指導依頼のあった場合、よりあいコーディネーターに依頼して、派遣指導を実施していただきました。(よりあいコーディネーター登録者：個人30名 団体3団体)

##### 【派遣実績】

(個人/人・団体/団体)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	18	18	24	30	14	18	34	19	17	21	41	35	289
団体	0	1	0	5	0	2	2	5	2	0	1	3	21

#### ⑦ よりあいコーディネーターフォローアップ研修

よりあいコーディネーターに登録いただいている方を対象に、指導力向上を目的に研修を行いました。

開催日	会 場	参加者数	内 容
7/11	うきは市総合福祉センター	17名	「タオル・新聞紙など身近なものを使ってできる簡単な体操・手遊び」 フィットネスインストラクター 河津 聖駒 氏
9/30	うきは市総合福祉センター	12名	「地域における高齢者支援」 日本赤十字社 福岡県支部 講師
2/17	うきは市総合福祉センター	16名	「高齢者が喜ぶあそび心満載の満載のゲーム」 福岡県レクリエーション登録指導員 西野 拓見氏

#### ⑧ ボランティア講習会・研修会の開催

現在ボランティア活動をされている方、これからボランティア活動をはじめたい方を対象に、次のようなボランティア講習会を開催しました。また、ボラ連に加入しているボランティアグループの研修開催の支援も行いました。

開催日	会場	参加者数	内容
5/21	総合福祉センター	9名	ハンディ移送サービスうきは協力会員研修会
6/13	総合福祉センター	21名	高齢者支援ボランティア講座
7/30	総合福祉センター	16名	点字を学ぶ講座（KIDS チャレンジ大作戦と同時開催）
11/4	うきは自動車学校	12名	運転ボランティア安全運転講習会
11/12	総合福祉センター	17名	ボランティア対象 救命講習

### ⑨ ボランティア研修・つどい等への参加

ボランティアの資質向上を図り、他市町村ボランティアとの連携強化のため、次のつどいに参加しました。

開催日	会場	参加者数	内容
2/15	クローバープラザ（春日市）	50名	ふくおか"きずな"フェスティバル

### ⑩ うきは市手話サークルへの支援

聴覚障害者への支援活動を行っている「うきは市手話の会」に、手話講習会や聴覚障害者との交流事業に活動の支援をおこないました。

### ⑪ うきは市山村復興プロジェクトへの協力

九州北部豪雨災害によって大きな被害のあった、小塩校区、姫治校区、妹川校区の山間部の復興支援として、平成24年度にうきは市農林・商工観光課が中心となって市内の各関係団体に呼びかけ、「うきは市山村復興プロジェクト」が企画されました。3/22に、災害後、災害復旧・復興活動でお世話になった方々へ感謝の気持ちを表したい、復旧・復興の現状を見てもらいたいということで「災害復旧支援感謝祭」が開催され、社協からも支援を行いました。

## (3) ふれあいセンター・地区自治協議会福祉部、福祉会活動支援事業

ふれあいセンター、26年度より発足した自治協議会福祉部活動について、担当職員を配置し、活動支援、連絡調整などをおこないました。

活動支援等をしていく中で、ふれあいセンターと自治協議会福祉部への支援について、地区よりご意見を頂き、特別委員会を設置し、今後のふれあいセンター・自治協議会福祉部への活動支援・助成のあり方について協議がなされ、社協会長あてに答申書が提出されました。

### ① ふれあいセンター・地区公民館福祉部、運営費・活動費助成

[ふれあいセンター運営費算定基準]

世帯数区分	運営費（円）	該当地区
0～500世帯	80,000	妹川 田籠 新川 小塩
501～1,000世帯	120,000	大石 山春
1,001～1,500世帯	160,000	福富（江南）
1,501～2,000世帯	200,000	（千年）（吉井）
2,001～2,500世帯	240,000	御幸

※（ ）は福祉部

[ふれあいセンター活動費算定基準]

平等割り：各地区とも一律40,000円

行政区数割り：一行政区につき2,500円

世帯数割り：一戸につき100円

高齢率割り：うきは市の高齢率29.7%（H26.4.1現在）を基本値に100%として、各地区の高齢率比率を算出し、基本額80,000円から、その比率に応じて算出。

各地区のふれあいセンターに次の運営費・活動費を助成しました。

(円)

	御幸	大石	山春	妹川	新川	田籠	小塩	福富	合計
運営費	240,000	120,000	120,000	80,000	80,000	80,000	80,000	160,000	960,000
活動費	435,000	277,200	260,500	164,300	190,700	145,500	186,000	287,900	1,947,100

※千年・江南・吉井校区の地区自治協議会福祉部については、規定により運営費については基準の1/4、活動費については1/2をそれぞれ助成いたしました。

(円)

	千年	吉井	江南	合計
運営費	50,000	50,000	40,000	140,000
活動費	166,050	168,900	142,300	477,250

※活動費は、各ふれあいセンターや地区自治協議会福祉部における地区福祉大会、友愛訪問、福祉委員の研修、先進地・施設視察研修など、それぞれの地区活動に活用されています。

※この他、各事業活動に応じて、追加助成を別途おこなっております。(助成金額852,000円)

### ②ふれあいセンター・自治協議会福祉部連絡会

各ふれあいセンターや地区自治協議会福祉部の連携や情報交換をおこなうため、ふれあいセンター・自治協議会福祉部連絡会を開催しました。

#### 【ふれあいセンター・自治協議会福祉部連絡会検討内容】

期日・回	検討・情報交換項目
第1回 6/17	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ふれあいセンター・公民館福祉部 平成25年度事業報告</li> <li>各ふれあいセンター・自治協議会福祉部 平成26年度計画について</li> <li>生活困窮者自立支援法、生活困窮者自立支援事業について</li> <li>第2回うきは市社会福祉大会の開催について</li> </ul>
第2回 11/10	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ふれあいセンター・自治協議会福祉部中間報告</li> <li>福祉座談会、福祉小座談会の開催状況及び推進について</li> <li>福祉会の設置状況及び推進について</li> <li>歳末たすけあい活動について</li> </ul>

### ③福祉会設置推進

6月に、吉井町域で初の設置となる江南校区の庄園区で福祉会が設置されました。

また、9/18に福祉会役員、ふれあいセンター・自治協議会福祉部役員を対象に、研修会を開催しました。「地域で組織的・計画的・継続的な支援をみんなで進めるポイント」について、Mottoひょうご栗木剛氏に講演して頂き、参加者からは、普段から、声かけや関わりを持つことの重要性を感じたとの声がありました。

今後も、各地区ふれあいセンター・自治協議会福祉部などと連携して、福祉会の設置推進と活動支援をおこなっていきます。

### ④福祉会活動支援・助成

うきは市内に27福祉会(37行政区)がありますが、助成要望書の提出があった25福祉会について、活動費の助成をおこないました。

地区	福祉会名	設立年度	地区	福祉会名	設立年度
大石	古川村福祉会	平成12年度	大石	東の1・2・3区福祉会	平成17年度
山春	保木区福祉会	平成12年度	大石	古川町区福祉会	平成17年度
山春	袋野区福祉会	平成12年度	山春	川籠石区福祉会	平成18年度

地区	福 社 会 名	設立年度	地区	福 社 会 名	設立年度
山春	西長瀬区福祉会	平成 12 年度	御幸	朝田原区福祉会	平成 20 年度
山春	荒瀬・畑中区福祉会	平成 12 年度	御幸	中町区福祉会	平成 20 年度
御幸	川原町区福祉会	平成 13 年度	御幸	御幸通区福祉会	平成 20 年度
妹川	檜ヶ平区福祉会	平成 13 年度	御幸	浮羽区福祉会	平成 21 年度
御幸	旭町区福祉会	平成 13 年度	大石	西高見 (西の1・2・3・5) 福祉会	平成 21 年度
山春	三春原福祉会	平成 14 年度	大石	西の4区福祉会	平成 22 年度
大石	東の6区福祉会	平成 15 年度	山春	吉広区福祉会	平成 24 年度
大石	中鶴区福祉会	平成 15 年度	山春	上組区福祉会	平成 24 年度
大石	糸丸区福祉会	平成 15 年度	山春	下組区福祉会	平成 24 年度
山春	大野原区福祉会	平成 16 年度	江南	庄園区福祉会	平成 26 年度
大石	東の4・5区福祉会	平成 17 年度			

助成金については、基本助成として 10,000 円を、活動応分助成として実績を審査の上で追加助成をします。また、よりあい開催費については、別途よりあい活動助成をおこなっておりますので、福祉会活動助成には含まれません。

なお、大野原区福祉会、東の6区福祉会は助成要望書の提出がありませんでした。

#### ⑤福祉小座談会の開催

区の役員（区長、分館長、福祉委員、民生委員等）の皆様と地域で悩みごと、困りごとを持っておられる方の支援について、一緒に話し合いを行う福祉小座談会を 75 区で開催しました。

地区	実 施 区 名
御幸 (27 区)	松本/今川通/東町/中町/吉江/隈の上/宮本/本町/西町/千足一丁目/千足二丁目/千足三丁目/千足新町/千足四丁目/中川原/旭町/朝田原/一の瀬/一の瀬新町/小坂/上流川/下流川/東浮羽/御幸通/千足五丁目/浮羽/大崎
大石 (6 区)	東の1/東の4/東の5/糸丸/中鶴/西の4
山春 (14 区)	吉広/下組/上組/中園/国本/大野原/北原/保木/畑中/荒瀬/袋野/川籠石/三春原/東長瀬
吉井 (1 区)	19 区
福富 (8 区)	東屋部/西屋部/東延寿寺/西延寿寺/安富/東屋形/西屋形/千代久
江南 (19 区)	上古賀/稲崎/中島/富小/庄園/下菅/今泉/上菅/島/太田/高田/夏沖/今竹/末石/金本/清宗/三牟田/岩光/新治団地

#### ⑥よりあい活動支援

活動報告書の提出があった以下のよりあい活動に対して、活動費の助成をおこないました。

開催回数/ 284 回      開催区数/ 81 区

参加内訳：高齢者/ 4,256 名      世話人/ 1,284 名      その他/ 652 名      参加者計/ 6,192 名

地 区	開催区/行政区	高齢者	世話人	その他	参加者計	開催数
妹川校区	2/5	253	71	38	362	15
新川地区	0/8	0	0	0	0	0
田籠地区	0/1	0	0	0	0	0
小塩校区	4/4	284	52	27	363	30
山春校区	14/17	619	200	127	946	42
大石校区	17/18	475	238	94	807	25
御幸校区	23/28	1,321	390	199	1,910	69



地 区	開催区/行政区	高齢者	世話人	その他	参加者計	開催数
千年校区	7/20	452	118	86	656	38
福富校区	6/15	252	76	32	360	18
吉井校区	2/23	130	40	0	170	9
江南校区	6/19	470	99	49	618	38
計	81/158	4,256	1,284	652	6,192	284

※なお、よりあい活動を実施していても助成の必要がなく、活動報告書を提出していない区もあります。  
また、よりあいの手引き書を、福祉委員や民生委員等関係者に配布し、推進を図りました。

#### (4) 地区地域福祉活動計画策定支援

平成 21 年度にふれあいセンター御幸、23 年度にふれあいセンター妹川と江南公民館福祉部が策定を終了し、計画に沿って、地区の福祉活動が推進されています。

社協では、他の地区に計画策定に向けて話をしてきましたが、自治協議会が策定する地域計画との関係もあり、計画策定の検討自体が保留の状態となりました。

#### (5) 民生委員児童委員活動の支援・助成

地域における福祉活動の推進役である民生委員活動の推進を図るため、地域の福祉委員等との情報交換、連携を図ることを目的とした地区懇談会の開催に対して支援・助成を行いました。

・実施行政区 51 行政区 参加者実数 171 名（民生委員、福祉委員、区長、ボランティア等）

### 10. 共同募金配分金事業

#### (1) 高齢者への支援

##### ①よりあい遊具無料貸出

各区でのよりあい活動等に対して、福祉レクリエーション遊具の無料貸出をおこないました。

##### ②金婚祝福の会

結婚 50 周年を迎えられたうきは市内に居住の方を対象に、金婚祝福の会をおこないました。

開催日/ 10/29 (水) 会場/ J A にじ総合会館アルカス 該当者/ 71 組

祝福の会出席者/ 53 組 (102 名)

##### ③老人クラブ連合会活動支援・助成

老人クラブ連合会について、担当職員を配置し、活動の側面的支援を行うほか、活動助成金を支出しました。

団 体 名	助成金額	助 成 活 動
うきは市 老人クラブ連合会	621,300円	・活動保険加入 ・新任会長研修 ・リーダー研修 ・県ゲートボール大会 ・高齢者相互支援活動 ・北筑後グラウンドゴルフ大会 ・広報誌発行費 ・日帰り研修会 ・校区幹部研修

##### ④一人金婚式の助成

妹川・御幸地区自治協議会主催で実施された一人金婚式に対し、助成を行いました。(41,000円)

##### ⑤高齢者安心カード作成（個人情報記載携帯カード）

高齢者安心カードを作成するために、老人クラブを通じて概ね 75 歳以上の登録希望者の方に申込み記入用紙を配布するとともに、26 年度からの新たな取り組みとして、民生委員・児童委員協議会の定例会時にもカードの説明、申込用紙の配布を行い、143 名の方の携帯用カードの作成と配布を行いました。

#### (2) 障害者・家族への支援

##### ①障害者団体活動支援・助成

障害者（支援）団体について、担当職員を配置し、団体活動の相談に当たるほか、活動助成金を支出しました。

団体名	助成金額	助成活動
うきは市障害者福祉協会	731,683円	・部会活動（視覚障害者部会・聴覚障害者部会他） ・会員交流活動
チャレンジド親の会	128,206円	・会員交流会
合計	859,889円	

## ②障害者福祉情報の提供

ふくしのかかわら版にて、障害者に関する団体の活動情報や福祉サービスに関するの情報提供をおこないました。また、社会福祉大会においてパネル展示等で啓発に努めました。

## ③視覚障害者用録音物・郵便物貸出事業

市内の視覚障害者の方へ、朗読ボランティア（声のグループうさぎ、朗読ボランティアともしび会）の協力により、広報うきは、ふくしのかかわら版を定期的に、また必要に応じて身近な情報をテープに録音し届けました。（利用者：6名）

また、市内の点字を利用している視覚障害者の方へ、点訳ボランティア点筆の会の協力により、身近な情報を点訳し届けました。（利用者：8名）

## ④浮羽共同作業所活動支援・助成

精神障害者の共同作業所である、NPO法人みつば会「浮羽共同作業所」に対し、共同募金配分金より一般活動費として30万円を助成しました。

## (3) 児童・青少年福祉に関する支援

### ①子育て支援団体助成

子育て支援に関わる各団体・組織に活動費および備品購入費の助成をおこないました。

名称	助成額	名称	助成額
子育てサークルひよこクラブ	22,590円	江南学童保育所	30,000円
吉井学童保育所	30,000円	遊林学童保育所（遊林クラブ）	30,000円
福富学童保育所	30,000円	姫治学童保育所	20,160円
子育てサークルちびっこ広場	25,103円	合計	187,853円

### ②子ども用遊具貸出

各子育て支援団体等に必要遊具を貸し出ししました。

### ③母子・父子福祉活動事業

平成27年度に小学校に入学されるお子さん（母子・父子家庭）に対して、新入学お祝いとして、学用品（水彩道具セット）をお送りしました。（新入学児童数：30名）

### ④母子寡婦福祉会活動支援・助成

うきは市母子寡婦福祉会について、担当職員を配置し、団体活動の相談に当たるほか、活動助成金を支出しました。

団体名	助成金額	活動概要
うきは市母子寡婦福祉会	504,140円	・親子バスハイク ・寡婦研修会 ・親子陶芸教室、バーベキュー ・野球観戦（会員交流） ・新入学お祝い品（文房具）

### ⑤子育て支援情報の提供

ふくしのかかわら版にて、母子寡婦福祉会や子育て支援グループ、地域子育て支援センターの活動に関する情報提供を行いました。

#### ⑥夏休みの福祉体験学習

夏休み期間を利用して、児童を対象に福祉体験学習を行いました。今年は、水生生物調査による川の簡易水質調査と、視覚障害者との交流・点字体験を行いました。〔実施日 7/30 小学生 13名・保護者 2名〕

#### ⑦育児用品リサイクル事業への協力

育児用品の寄贈の受付・保管・貸出については総合福祉センター 2階子育て支援センター「子ども交流室」にて行い、点検と清掃は社協・ボランティアセンターにて実施しました。

#### ⑧うきは絆プロジェクトへの協働

うきは警察署との協働で、軽犯罪を犯した少年少女達の立ち直り支援として、防犯委員やボランティアセンター、地域の方々のご協力のもと地域活動を行いました。

「きずな農園」（金本区内）では、農作物を作り、昨年に引き続き、収穫した野菜でしし汁を調理し、JA にじ耳納の里にてチャリティ募金活動を行いました。ここで集められた募金は、うきは市の豪雨災害義援金として寄付しました。また、年末には総合福祉センター利用者のふれあい餅つき交流会を実施しました。

期日	活動	期日	活動
5/11	きずな農園植え付け	11/8	耳納の里チャリティ活動
11/7	きずな農園収穫	12/25	ふれあい餅つき交流会

### (4) 福祉教育に関する事業

#### ①福祉教育指定校連絡会

各学校での福祉教育活動の情報交換を行うために、福祉教育指定校連絡会を開催いたしました。

(福祉教育指定校連絡会開催日 5月30日)

#### ②福祉教育指定校助成

市内の全小中高等学校に対して、福祉教育指定校として福祉教育を推進するための活動支援及び助成金を交付しました。(助成金 小中学校 12校×70,000円、浮羽究真館高等学校 50,000円)

#### ③福祉体験学習の支援

学校・自治協議会からの依頼を受けて、児童を対象に福祉体験学習を実施。ゲストティーチャー等の斡旋を行いました。体験学習を実施する際には、ボランティアコーディネーターや地域の方にもご協力頂きました。

実施日	学校名	内容
6/9	吉井小学校	「よりあい」について講話
6/16	吉井小学校	能楽区、2区のよりあいへ参加 地域の高齢者との交流
10/3	江南小学校	視覚障害について
11/7	御幸小学校	視覚障害について、点字体験、車イス体験、献血事業
11/13	山春小学校	視覚障害について、点字体験
11/14	福富小学校	視覚障害について、視覚障害者体験
11/26	吉井地区自治協議会	高齢者疑似体験

#### ④福祉教育読本の配布

福岡県社協が編集作成している、福祉教育読本「ともに生きる」を福祉教育教材として市内全小学校の5年生に1冊ずつ配布しました。

### (5) 住民全般に関する事業

#### ①社協だよりの発行

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の生活問題に関する事などを、うきは市民の皆さまにお伝えするために、毎月15日に「ふくしのかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

## ②福祉委員だよりの発行

福祉委員の活動内容や福祉委員から地域の高齢者に伝えて欲しい情報などをお伝えするために、毎月1日に「福祉委員かわら版」を発行し、全福祉委員および各区長、民生委員児童委員に配布しました。

## ③赤い羽根だよりの発行

赤い羽根共同募金および歳末たすけあい募金の協力実績や活動実績を市民の皆さんへお知らせするために、「赤い羽根だより」を発行し、全戸に配布しました。(年1回)

## ④地域憩いの広場施設整備・補修の助成

地域憩いの広場助成として、1行政区より申請があり助成をしました。

支出日	対象地区	内容	助成額
10/30	朝田原区(御幸校区)	遊具の補修(劣化したブランコの交換)	42,000円

## (6) 災害ボランティア養成・訓練

うきは市災害ボランティアセンターに係るうきは市との協定に基づき、平時の取り組みとして、5/25にうきは市総合防災訓練にあわせて、総合福祉センターにて、社協職員及びうきは市ボランティア連絡協議会会員と災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行いました。また、6/3には、福岡防災研究会の宮崎雄輔氏をお招きして、災害ボランティアセンター図上訓練を行い、社協の各部署間の連携方法について学びました。

また、次のような災害関係研修会に職員が参加しました。

期日	場所	内容	参加者
6/28	大刀洗町社協	両筑地区災害ボランティアセンター設置・運営訓練	職員2名

## (7) たすけあい援護金品の支給に関する事業

### ①要支援・低所得世帯に対する無償野菜・お米等の配達訪問

JAにじ「耳納の里」ならびに農産物搬入者のご厚意により、過剰分の野菜を毎週月・水・金曜日にいただき、市内在住の要支援・低所得世帯に安否確認を兼ねた配達を行いました。また、市民の皆様からご寄付いただいたお米もあわせて配りました。(区分の重複あり。実人員42名、2施設)

区分	対象者	延べ回数	備考
低所得世帯	22	133	
障害世帯	8	77	
生保世帯	19	240	保護開始前、停止後の支援も実施
母子世帯	4	10	
その他	2	36	医療機関等
合計	55	496	

### ②火災等災害被災者へのお見舞い

火災の災害に遭われた市民の方に対し緊急に見舞金を贈りました。

・件数：1世帯(2名) 見舞金総額：40,000円

**(8) 歳末たすけあい配分事業に関すること**

**① 年末見舞金**

※年末見舞金として次の方々に取り次ぎしました。(見舞事業総額：2,612,560 円)

援護の必要な世帯	49 世帯 102 名	1,406,000 円	事故・病気・災害遺児	3 名	33,000 円
長期在宅療養・認知症の方	32 名	352,000 円	両親の扶養のない児童	5 名	55,000 円
在宅重度障害者(児)	69 名	759,000 円	取次用領収書等		7,560 円

**② 年末年始援助活動**

※年末年始援助活動費として次の事業に助成金を交付しました。(事業費総額：1,692,007 円)

① 福祉施設歳末行事 (4 施設)	137,369 円	⑥ 子育て支援活動	199,782 円
介護老人保健施設うきは、浮羽学園、希望が丘、ワークサポート白鳥の家		グループいろり「みんなでハッピークリスマス～サンタが街にやってきた」	
② 一人暮らし高齢者等見守り訪問活動	489,564 円	江南学童保育所(きらきらルーム)「クリスマス会」	
要援護世帯へのカレンダー配布		福富学童保育所「クリスマス会」	
③ 正月用おもち配布活動	78,585 円	吉井学童保育所(にこにこクラブ)「クリスマス会」	
吉井幼稚園・吉井地区民児協によるお餅配布(299名)		大石学童保育所(ラビットクラブ)「クリスマス会」	
少林寺拳法浮羽道場によるお餅配布(49世帯63名)		子育てサークルちびっこ広場「クリスマス会」	
④ 地域交流活動事業	186,391 円	子育てサークルひよこくらぶ「クリスマス会」	
うきは市手話の会「クリスマス会」		⑦ 年賀状配布事業	2,288 円
チャレンジ親の会「障害のある子どもたちと家族の交流会」		吉井幼稚園による一人暮らしの方への年賀状配布(44通)	
ハッピーかい「セラピューティックケアサービス」		⑧ 配分決定通知等郵送代	1,968 円
不登校・ひきこもりの当事者会 Switch「クリスマス会」			
うきは市母子寡婦福祉会「若年親子クリスマス会」			
吉井幼稚園「浮羽老人ホーム慰問」			
⑤ ふれあいセンター等歳末援助活動	596,060 円		
ふれあいセンター田籠・新川・小塩・妹川・山春・大石・御幸・福富 千年・吉井・江南自治協議会福祉部			

**11. 資金貸付事業**

民生委員児童委員が低所得世帯等の更生指導をおこなう資源として、資金貸付制度の運用をおこないました。資金の貸付にあたっては、貸付調査委員会の意見・答申のもとに行いました。

■ 貸付調査委員会 ■

回数	期日	会 場
第1回	5/8	うきは市総合福祉センター
第2回	6/26	うきは市民センター
第3回	12/8	うきは市総合福祉センター

【初回相談件数】

相談内容	件 数
生活費等	31
教育費	15
その他(問い合わせ)	30
計	76

**(1) 生活福祉資金貸付事業 (県社協より事務委託)**

【平成26年度貸付】 (人)

資金種類	26年度取扱い分	うち26年度新規
総合支援資金	5	0
福祉資金	9	1
緊急小口資金	12	2
教育支援資金	49	2
不動産担保型生活資金	2	0
計	77	5

【平成26年度貸付決定額】 (円)

資金種類	決定額
総合支援資金	0
福祉資金	90,000
緊急小口資金	200,000
教育支援資金	4,760,000
不動産担保型生活資金	0
計	5,050,000



## (2) 援護資金貸付事業

【平成26年度状況】

区 分	年度当初償還残額	件数	年度内貸付額	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
前年度以前貸付	429,000円	8			373,500円	55,500円	1
26年度内貸付			439,000円	14	369,000円	70,000円	2
合 計	429,000円	8	439,000円	14	742,500円	125,500円	3

## (3) 育英奨学資金貸付事業

社協独自の育英奨学金として、低所得世帯の生徒に対し高等学校への修学資金を貸し付けていますが、26年度は2名を採用しました。

【育英奨学資金償還状況】

区 分	年度当初償還残額	件数	年度内貸付額	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
貸付完了分	492,200円	3			210,000円	282,200円	3
24・25年度内貸付完了分	1,344,000円	6			0円	1,344,000円	—
26年度内貸付			1,536,000円	8	0円	1,536,000円	8
合 計	1,836,200円	9	1,536,000円	8	210,000円	3,162,200円	11

## 12. 家族介護支援事業

家庭で寝たきりや認知症高齢者を介護している家族の支援を行いました。

①在宅介護者の会「コスモス会」活動支援・助成（助成額 100,933円）

実施日	行事内容	参加者数
4/16	役員会	6名
5/2	役員会	4名
5/15	総会、交流会	11名
6/4	役員会	6名
7/24	定例会（認知症について学ぶ）	23名
8/8	定例会（レトルト介護食教試食会）	12名
9/11	定例会（介護教室）	11名
10/4	定例会（家庭介護介助者養成講座） 主催：福岡県市町村振興協会	4名
10/11	定例会（家庭介護介助者養成講座） 主催：福岡県市町村振興協会	6名
11/12	定例会（介護リフレッシュ講座） 講師：舞踊体操 木下 ウメカ氏	11名
12/12	定例会（介護料理教室）	11名
1/29	研修会（高齢者疑似体験研修 春日市クローバープラザ） 講師：福岡県社会福協議会 太宰府天満宮初詣	10名
3/12	役員会	5名
合 計		120名

②うきは市在宅介護者のつどい

期日	内 容	参加者数
2/13	在宅介護者のつどい リフレッシュ日帰りの旅 場所：大分県日田市豆田町	15名
合 計		15名

### 13. 移送サービス支援事業

会員制の移送支援グループ「ハンディ移送サービスうきは」に、社協公用車を貸与し、移送サービスの支援を実施しました。通院の送迎が主ですが、通院の帰りに買い物へ行く場合もあります。

送迎用の車輛は、軽シートアップ車、軽車イス対応車、介護車から選択することができます。なお、どの車輛も車椅子を折りたたんで運ぶことができますが、軽車イス対応車については、車椅子に乗ったままの移送が可能です。(利用無料、活動協力費を社協助成/助成額 278,000 円)

#### 【ハンディ移送サービス利用状況】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数		12	9	10	13	10	13	14	11	14	13	11	12	142	
内 訳	歩行が困難な高齢者	独居高齢者	5	5	5	8	5	7	6	5	6	7	4	5	68
		高齢者世帯	4	2	2	3	2	2	3	2	3	3	2	4	32
		その他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	障害者	身体障害者	1	0	1	0	1	2	2	1	2	0	2	0	12
		視覚障害者	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	18
		知的障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
移送件数		21	17	19	20	16	22	31	18	28	23	19	20	254	
内 容	通院送迎	17	12	15	16	13	19	24	15	23	19	15	16	204	
	その他	4	5	4	4	3	3	7	3	5	4	4	4	50	
利用時間 (時間)		44.0	29.5	41.0	48.5	36.0	56.0	74.5	42.0	54.0	48.5	36.0	46.0	556.0	
走行距離 (km)		436	371	423	557	389	570	750	364	710	538	379	603	6,090	

### III 在宅福祉サービス事業部門

#### 1. うきは市ケアプランサービスセンター

年間利用者数は、前年度比、要介護者△ 245 名、要支援者+ 63 名で、収入は△ 12.1% となりました。新規の要支援者は増えているが、要介護者は新規 15 名に比べ、死亡や入所が多いことが上げられます。

要支援者の支援は、要介護者と変わらない程の支援が必要ですが、委託単価が低いのが痛手となっています。

また、27 年度の介護保険制度の改正では、特に要支援者に対する地域での支援が謳われている中、民生委員や福祉委員、ボランティアなどによる声かけ訪問やよりあい活動など、より一層、地域支援を組込んだプラン作りが求められることが想定され、これまで培ってきた社協の地域福祉活動と連携し、利用者のニーズに応えていきます。

□営業日：月～金曜日（但し、国民の休日、12 / 29～1 / 3 を除く）

□サービス提供時間：午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（但し、24 時間連絡可能な体制を確保）

□職員体制：主任介護支援専門員 1 名、介護支援専門員 4 名（内、兼務職員 2 名）

##### (1) 居宅介護支援事業：要介護認定者のケアプラン作成

平成 26 年度居宅サービス計画作成実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
作成件数	93	91	85	84	82	82	84	85	84	81	80	84	1,015	84.6

##### (2) 介護予防支援事業（うきは市地域包括支援センター受託事業）：要支援認定者の予防プラン作成

平成 26 年度介護予防サービス計画作成実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
作成件数	26	26	30	28	26	25	27	27	29	29	31	30	334	27.8

#### 2. うきは市ヘルパーステーション

介護保険事業は、年間利用者数、前年度比△ 80 名、延べ利用回数は△ 1,636 回、障害福祉サービス事業では、+ 31 名、+ 322 回、合わせた収入は△ 8.0% となり、介護保険事業での新規利用者の確保が課題となりました。（26 年度新規利用者 介護保険 29 名、障害者 7 名）

受託事業では、生活管理指導員派遣事業、移動支援事業共に利用者の減により、収入も減となりました。（△ 32.7%）

運動機能の低下や認知症の進行などにより、入院・入所されるケースが増えており、ケアプラン事業所をはじめ、関係機関との緊密な連携強化が必要となっています。

また、安心・安全なサービスを提供するため、職員の資格取得、資質の向上を、より一層図る必要があります。

□営業日：年中無休（但し、12 / 31・1 / 1 を除く）

□サービス提供時間：午前 7 時～午後 9 時

□職員体制：ホームヘルパー 13 名（内、介護福祉士 9 名）

##### (1) 介護保険事業

①介護予防訪問介護事業：要支援認定者へのヘルパー派遣

②訪問介護事業：要介護認定者へのヘルパー派遣

平成 26 年度介護予防訪問介護及び訪問介護事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
介護予防 利用者数	29	28	30	32	34	36	34	32	32	34	34	33	388	32.3
訪問介護 利用回数	173	175	180	211	179	216	206	183	202	187	181	190	2,283	190.3
訪問介護 利用者数	36	36	33	32	27	29	30	27	32	26	25	25	358	29.8
訪問介護 利用回数	539	559	486	431	403	416	381	351	420	350	342	339	5,017	418.1

## (2) 障害福祉サービス事業

①居宅介護：障害者へのヘルパー派遣。

平成 26 年度障害者居宅介護事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	20	20	20	21	19	20	21	21	21	22	21	20	246	20.5
利用回数	310	320	318	346	208	271	327	227	249	248	238	285	3,347	278.9

②同行援護：視覚障害者のガイドヘルプ

平成 26 年度障害者同行援護事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	20	1.7
利用回数	13	20	15	9	6	16	22	12	7	4	4	12	140	11.7

## (3) 受託事業

①生活管理指導員派遣事業（市受託事業）

介護保険認定外者で、日常生活を営むのに支障がある独居高齢者等に対し、生活管理指導員を派遣し、日常生活上の援助を行い、自立した生活を可能にし、要支援・要介護状態への進行防止に努めました。

平成 26 年度生活管理指導員派遣事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	5	4	4	4	3	3	3	3	3	3	4	5	44	3.7
利用回数	18	19	14	16	11	11	14	9	13	10	13	19	167	13.9

②移動支援事業（市受託事業）

障害者の外出支援（ガイドヘルプ）

平成 26 年度障害者移動支援事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	1	3	2	3	4	5	3	2	2	2	2	3	32	2.7
利用回数	2	3	3	3	6	6	3	2	2	2	2	3	37	3.1

③母子家庭等日常生活支援事業（市受託事業）

日常生活を営むのに支障が生じている母子家庭に、家庭生活支援員を派遣して、生活を支援しました。

・利用者実人員 2 名 延べ利用回数 36 回 (H26.4 月～ 11 月)

## 3. うきは市デイサービスセンター

通所介護事業は、要支援者の利用は、前年度比、年間 + 62 名、延べ利用回数 + 576 回となりましたが、要介護者の利用が、△ 130 名、△ 1,701 回となり、収入は△ 18.3%と厳しい状況となりました。認知症対応型通所介護事業については、年間利用者数は + 6 名でありましたが、利用回数が△ 41 回となり、収入は△ 6.7%となりました。いずれも要介護者の新規獲得が課題です。(26 年度新規利用者、通所介護 要支援 10 名・要介護 7 名、認知症対応型 9 名)

受託事業である通所型介護予防事業（生きがいデイ）は、前年度比、年間利用者 + 122 名、延べ利用回数 + 310 回、+ 62.5%の収入増となりましたが、介護保険事業に比べ、委託単価が低く設定されています。

介護保険事業の訪問入浴と受託事業である身体障害者訪問入浴サービスは、利用者が少なく、合わせた収入は、前年度比△ 33.0%となりました。利用者の多くが、ターミナル期の方で、短期間の利用であることに加え、体調不良による中止、寝たきりの方でも、通所系サービスを選択されることが考えられます。

全事業合わせた収入は、前年度比△ 13.8%となり、利用者獲得に向け、ケアプラン事業所や病院、民生委員、福祉委員など、多くの関係者により一層の働きかけをしていきます。

□営業日：年中無休（但し、8 / 14・15、12 / 31～1 / 3を除く）

□サービス提供時間：介護予防通所介護 午前 9 時 30 分～午後 4 時（時間延長あり）

通所介護、認知症対応型通所介護 午前 9 時 15 分～午後 4 時 30 分（時間延長あり）

訪問入浴介護 午前 9 時 30 分～午後 5 時 15 分

※センター専用調理室で、昼食とおやつを提供

調理：調理員 4 名（内、兼務職員 2 名）、献立：栄養士 1 名（兼務職員）

## (1) 介護保険事業

### ①介護予防通所介護事業

要支援認定者へ運動器機能訓練、口腔機能訓練等のサービスを実施し、要介護状態とならないように努めました。

### ②通所介護事業

要介護認定者へ個別機能訓練、口腔機能訓練等のサービスを実施し、要介護状態の悪化防止に努めました。

□ 1 日の職員体制／職員 8 名（管理者、生活相談員、看護師、介護職員、機能訓練指導員、歯科衛生士）

※介護予防通所介護事業と一体的に実施。

### ③認知症対応型通所介護事業

認知症専用の施設として、日常動作訓練、レクリエーション等のサービスを実施し、進行の防止に努めました。

□ 1 日の職員体制／職員 4 名（管理者、生活相談員、看護師、介護職員、機能訓練指導員、歯科衛生士）

### ④介護予防訪問・訪問入浴介護事業

要支援、要介護認定者の自宅を、移動入浴車で訪問し、利用者の居室にて入浴を行い、身体の清潔保持に努めました。

□ 1 回の職員体制／看護職員 1 名、介護職員 2 名。

平成 26 年度うきは市デイサービスセンター介護保険事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
介護予防 通所介護	利用者数	29	29	29	31	27	28	28	27	30	31	33	35	357	29.8
	利用回数	191	204	204	212	167	185	185	184	202	180	217	240	2,371	197.6
通所介護	利用者数	42	38	35	34	34	34	33	35	36	31	30	34	416	34.7
	利用回数	509	501	464	450	430	467	465	452	450	372	386	468	5,414	451.2
認知症対応 型通所介護	利用者数	5	7	8	9	8	7	8	7	7	6	6	5	83	6.9
	利用回数	76	89	84	82	65	77	97	83	72	61	66	55	907	75.6
介護予防訪 問入浴介護	利用者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1
	利用回数	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0.2
訪問入浴 介護	利用者数	3	1	2	5	4	4	6	1	4	3	2	4	39	3.3
	利用回数	12	5	9	17	13	18	17	4	13	8	4	6	126	10.5

## (2) 受託事業

### ①通所型介護予防事業（市受託事業）

介護保険の認定外者の高齢者に対し、要支援、要介護状態とならないように、サービスを提供しました。通所介護事業と併せて実施。

・利用者負担／1回 1,000 円（昼食、おやつ、入浴、送迎含む）

平成 26 年度通所型介護予防事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	23	25	26	26	30	32	31	32	33	31	30	30	349	29.1
利用回数	81	91	94	108	94	123	130	115	115	109	98	100	1,258	104.8

### ②身体障害者訪問入浴サービス事業（市受託事業）

訪問入浴介護事業と併せて実施。障害者の訪問入浴介助。

平成 26 年度身体障害者訪問入浴サービス事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0	9	0.8
利用回数	4	3	4	4	0	4	4	4	4	1	0	0	32	2.7



#### 4. 食の自立支援事業（市受託事業）

利用者の年間延べ人数は、前年度比△80名、述べ配食数は△2,262食となり、当初の配食見込数（37,000食）を、大幅に下回りました。要因として、新規の利用者45名はあるものの死亡や入院・入所の増、家族対応や通所系サービスの利用、退院後などの一時的な利用による配食日の限定であったりすることが考えられます。

安否確認については、配食時に確認できなかった方には、置手紙を添え、帰宅したら電話を頂くようにし、電話がない場合は、何度もこちらから掛けたり、親族や関係者へ連絡を取るなどの徹底を図り、家族が警察に依頼し、窓ガラスを割って自宅へ入り、死亡を発見したケースがありました。

このケースは、土曜日の配食時（夕食）には確認、月曜日の配食時（昼食）に確認が取れず家族へ連絡したというもので、早期発見には繋がりましたが、配食のない日曜日の安否確認が課題となりました。

調理については、利用者の状態に応じ、おかゆや刻み食にしたり、服薬等により、禁食がある方については、献立内容を一部変更したり、配食も玄関口まで出られない方は、居室まで届けたり、弁当箱を洗うことができない方や犬猫を屋内で飼っている方に対しては、衛生上の理由から使い捨ての弁当箱（利用者負担）を使用したりなど、利用者にあった対応を取りました。

また、26年度は、利用者アンケート調査を2月に実施（84名配布、66名回答）し、今後の活動に繋げていきます。

□配食日：月曜日～土曜日（但し、8/14・15、12/30～1/3を除く）昼食と夕食

□利用者負担：1食400円（但し、生活保護受給者1食300円）

□活動体制：調理 給食員3.5名（H27.3月末現在）

献立 栄養士（調理兼務）

配食 給食員とボランティア（35名登録、H27.3月末現在）

□配食コース：昼食4コース（内、ボランティア 月・水・金3名、火・木・土2名）

夕食6コース（内、ボランティア 月・水3名、火・木・金・土4名）

（H27.3月現在）

#### 平成26年度食の自立支援事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	90	90	90	94	95	92	93	93	93	92	98	105	1,125	93.8
実施日数	26	27	25	27	24	26	27	25	25	24	24	26	306	25.5
配食数	昼食	897	928	871	937	789	834	909	810	778	817	808	10,286	857.2
	夕食	1,823	1,876	1,778	1,968	1,756	1,861	1,939	1,859	1,790	1,617	1,679	22,038	1,836.5
	合計	2,720	2,804	2,649	2,905	2,545	2,695	2,848	2,669	2,568	2,434	2,487	32,324	2,693.7

#### 利用者区分（H27.3月末現在）

区分	一人暮らし高齢者	高齢者夫婦	障害者	その他	合計
利用者数	58名	32名	5名	10名	105名

#### 5. ワークサポート 白鳥の家

就労移行支援事業は、26年度、5名が一般企業への就職ができ、新体系移行後（平成23年10月1日～）8名を就職させることができました。また、就職した利用者の職場定着を図るため、就職先を訪問し、相談に応じるなどの継続した支援を行いました。

就労継続支援事業では、生産活動における訓練や相談を通じて、日常生活の支援を行いました。また、地区福祉大会をはじめイベント等の出店により、施設や商品の周知・啓発を図ることができました。

課題として、就労移行支援事業は、新規利用者の受け入れのため、より一層の地域や関係機関等への事業内容の周知が必要です。

就労継続支援事業では、販売売上アップを主軸に、生産活動の充実を図り、目標工賃達成計画に基づいた賃金向上を維持し、生活の安定と社会性の向上へと繋いでいく必要があります。

経営面では、就職に伴い、就労移行支援事業が定員割れとなり、年間利用者数、前年度比△19名、述べ利用回数△408回、就労継続支援事業では、+6名、+102回、合わせた収入は△4.7%となりました。

- 開所日：月～金曜日（但し、国民の休日、8 / 15、12 / 29～1 / 3を除く）
- 開所時間：午前9時～午後4時
- 職員体制：管理者1名、サービス管理責任者1名  
                   生活支援員1名、職業指導員兼就労支援員1名（就労移行支援事業）  
                   生活支援員1名、職業指導員2名、商品企画員1名（就労継続支援事業B型）

(1) 就労移行支援事業

- 定員：6名
- 主な訓練、活動（作業）内容
  - ・就労に必要な知識、能力を向上させるために必要な訓練（面接訓練、履歴書作成訓練）
  - ・生産活動（下請け作業、名刺作成等）
  - ・職場実習、トライアル雇用の支援（実習先、雇用先の開拓と訪問）
  - ・求職活動支援（ハローワークへの登録）
  - ・職場定着支援（就職した利用者の職場訪問、相談対応）

主な訓練、作業内容

訓練・作業名	訓練・作業内容
業者下請け作業	商品ラッピング（JAにじ）、フローリング材穴埋め（平川木材工業）等
印刷作業	名刺印刷
パンの家スワンベーカリー	喫茶ルーム接客
喫茶あひるの子	コーヒー・パンの販売、接客

職場実習実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
実習者数	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	2	11	0.9
実習日数	14	11	10	6	6	12	0	10	0	10	7	13	99	8.3

□実習受入事業所

（株）エルスうきは工場、（株）篠崎、日本環境開発（株）、（株）栗木商店  
 （株）サンピット サンピットバリュー浮羽店、（株）イズミ ゆめマートうきは店  
 にじ農業協同組合 にじの耳納の里、社会福祉法人うきは市社会福祉協議会

□成果：就労者5名（累計8名）

(2) 就労継続支援事業B型

- 定員：15名
- 主な訓練・活動（作業）内容
  - ・日常生活に必要な知識、能力を向上させるための訓練（生活習慣、清潔保持）
  - ・就労の機会の提供及び生産活動
  - ・生活相談

主な訓練、作業内容

訓練・作業名	訓練・作業内容
アルミ回収作業	ボランティアの方と一緒に回収、市民の方の提供品整理
自主製品の製作販売	牛乳パック再生椅子、小物作り
スワンショップ	日用雑貨品の販売…(有)池内リサイクリング、地域の方からの寄付物品を整理し販売
パンの家スワンベーカリー	パンの製造販売、喫茶ルーム接客
喫茶あひるの子	コーヒー・パンの販売、接客

□工賃実績：1人当たりの月額平均工賃 31,009円  
 （平成25年度福岡県工賃平均額 月 13,112円）

(3) ワークサポート白鳥の家の主な行事

期 日	行 事 内 容
H26.4.7	あいの会食事会
5.1	メーデー用パン 400 個、お茶 200 本納品
6.23	25 年度収支報告会
7.5	日帰り研修（防災センター、野球観戦）
8.4	健康診断
9.12・13	一泊研修旅行（山口～北九州）
10.3	赤い羽根共同募金街頭募金活動
10.4	御幸校区福祉大会出店
11.16	大石校区福祉大会出店
12.1	あいの会食事会
12.7	うきは市人権フェスティバル出店
12.15	避難訓練
12.22	収支報告会
12.25	仲間交流会
H27.1.16	健康診断
3.21	第 2 回うきは市社会福祉大会出店

(4) 平成 26 年度ワークサポート白鳥の家事業実績

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
就労	利用者数	6	6	4	5	3	3	3	3	3	3	3	3	45	3.8
移行	利用回数	125	106	61	109	55	60	66	54	53	56	41	55	841	70.1
就労	利用者数	20	19	19	18	19	19	19	19	19	19	19	19	228	19.0
継続	利用回数	322	302	313	303	250	275	345	280	290	261	275	320	3,536	294.7

6. 制度外サービス

(1) 暮らし安心サービス（うきは市ヘルパーステーション）

利用者や家族、介護支援専門員等の要望を受けて、介護保険並びに障害福祉サービス事業でのヘルパーでは対象とならない、通院時の院内介助等の身体介護や入院時の買物などの生活援助サービスを提供し、在宅生活の継続支援を行いました。

□利用者負担／1 回当たり

	30 分未満	30 分以上 1 時間未満	1 時間以上 1 時間半未満	1 時間半以上 (30 分増す毎に)
身体介護	1,000 円	2,000 円	3,000 円	1,000 円
生活援助	800 円	1,600 円	2,400 円	800 円

平成 26 年度実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	2	2	3	3	3	6	4	3	1	3	3	2	35	2.9
利用回数	4	8	8	9	14	28	18	6	5	8	7	5	120	10.0

(2) 認知症高齢者ナイトケア事業（うきは市デイサービスセンター）

利用者家族、介護支援専門員の要望を受けて、介護保険事業での短期入所生活介護（ショートステイ）以外の取り組みとして、夜間預かりを実施しました。

□利用者負担／ナイトケア代（1泊）2,000 円、食事代（夕食・朝食）500 円

平成 26 年度実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
1泊2日	4	4	0	2	3	2	1	1	2	0	0	0	19	1.6
2泊3日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
3泊4日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1

(3) あったか宅配サービス（市役所西別館給食室）

利用者、市の要望を受けて、市の「食の自立支援事業」を利用していたが、中止となった方や申込みをしたが、該当しなかった方で、食の確保が必要と認められた方に、月曜日から土曜日、昼食と夕食を配食しました。

□利用者負担／1食 500円

平成 26 年度実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	8	9	7	8	10	9	9	9	11	9	11	11	111	9.3
配食数	170	189	155	199	191	232	249	227	251	208	221	219	2,511	209.3

7. 関係機関との連携・連絡調整

(1) うきはブロック介護サービス事業連絡会

市内を実施地域としている介護サービス事業所で組織された連絡会に加入し、事業所間の連絡会議、研修会等に参加し、事業所間の情報交換と職員の資質向上に努めました。

なお、26年度からは、連絡会の事務局を社協が担当することになり、会議や事業の連絡調整等、事務の面を任せられるようになり、25年度より実施している連絡会の大きな事業の一つである「高齢者徘徊模擬訓練」を、市との共催で11月13日に実施しました。

(2) 障害者就業・生活支援センター「ぼるて」との連携

障害者就労移行支援事業については、障害者就業・生活支援センター「ぼるて」との連携により、ぼるて登録後、本人の希望・支援者（専門職）から見た適応性を考慮し、利用者にあった職場の開拓を協力して行いました。また、就労後の定着支援として、生活面を含め、就職先や関係機関との連携を取り、継続的な支援を行いました。

IV その他

1. 実習・見学受入状況

(1) ワークサポート 白鳥の家

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
御幸小学校2年生	22	福岡こども短期大学	1	山春校区民生委員	5
東峰学園中学部	4	日田特別支援学校PTA	21	大刀洗町身体障害者協会	20
小郡特別支援学校高等部	3	東峰村役場	2	吉井清流学級	16
小郡特別支援学校中等部	1	ふれあいセンター福富	24	ルッコラ	3
田主丸特別支援学校高等部	1	人吉市民生委員児童委員協議会	22	計 14団体 145名	

(2) 通所介護事業（うきは市デイサービスセンター）

団体・組織	人数	団体・組織	人数
ふれあいセンター福富	24	ワークサポート白鳥の家	1
福岡県立大学	1	計 3団体 26名	

(3) 訪問介護事業（うきは市ヘルパーステーション）

団体・組織	人数
九州大谷短期大学	1
計 1団体 1名	

(4) 視察受入 (地域福祉課)

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
志免町社会福祉協議会	1	大牟田市社会福祉協議会	3	女性と政治をつなぐ会	4
吉井清流学級	4	鹿児島県湧水町社会福祉協議会	11	大刀洗町社会福祉協議会	4
志免町議会	5	筑前町社会福祉協議会	2	朝倉市発達障害児親の会	15
南小国町民生委員児童委員協議会	10	天草市御所浦民生委員児童委員協議会	10	諫早市ボランティア連絡協議会	35
上毛町民生委員児童委員協議会	26	志布志市社会福祉協議会	11	高知県南国市	10
埼玉県社会福祉協議会	2	立教大学	1	春日市社会福祉協議会	3
計 18 団体 157 名					